

第二期八王子市子ども・若者育成支援計画
づくりに向けたアンケート調査

報 告 書

(ひとり親)

令和6年8月

八 王 子 市

| | |
|----------------------------------|----|
| I 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査目的 | 3 |
| 2. 調査方法 | 3 |
| 3. 回収状況 | 3 |
| 4. 調査項目 | 3 |
| 5. 報告書の見方 | 3 |
| II 調査の結果 | 5 |
| 1. 属性・家庭状況 | |
| (1) 母子家庭・父子家庭の別 | 7 |
| (2) 年代 | 7 |
| (3) 最終学歴 | 8 |
| (4) 同居している子どもの年齢帯・人数 | 9 |
| (5) ひとり親家庭となった理由 | 11 |
| (6) ひとり親になってからの期間 | 11 |
| (7) 住居の種別 | 12 |
| (8) 住居の間取り | 13 |
| 2. 日ごろの子育てについて | |
| (1) 安心して子育てができていると感じるか | 14 |
| (2) 地域の人が子育てを支えてくれていると感じるか | 16 |
| (3) 日ごろ子どもをみてもらえる親族・知人 | 18 |
| 3. 困っていることについて | |
| (1) 現在一番困っていること | 19 |
| (2) ひとり親になったときに一番困ったこと | 20 |
| (3) 相談相手 | 21 |
| (4) 情報収集の方法 | 22 |

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 4. 家計・経済状況について | |
| （1）公的年金、社会保障給付金の受給 | 23 |
| （2）公的年金、社会保障給付金以外の収入 | 24 |
| （3）収入の種類 | 25 |
| （4）就労収入 | 26 |
| （5）預貯金額 | 27 |
| （6）交通手段の所有状況 | 28 |
| （7）食料が買えなかった経験 | 29 |
| （8）衣類が買えなかった経験 | 29 |
| （9）世帯の家計について | 30 |
| （10）経済的な理由で支払えなかったことがあったもの | 31 |
| 5. 就労について | |
| （1）就労状況 | 32 |
| （2）就職・転職希望 | 33 |
| （3）就職・転職希望理由 | 34 |
| （4）就職しない理由 | 35 |
| （5）副業 | 36 |
| 6. 養育費について | |
| （1）養育費の取決め | 37 |
| （2）養育費の受給状況 | 37 |
| （3）養育費を受け取っていない理由 | 38 |
| （4）親子交流（面会交流）の取決め | 39 |
| （5）親子交流（面会交流）の有無 | 39 |
| 7. 子どものことについて | |
| （1）子どもの最終進学目標 | 40 |
| （2）子どもの体験 | 41 |
| （3）子どもに与えているもの | 42 |
| （4）経済的理由でないもの | 43 |
| 8. 支援制度について | |
| （1）支援制度の認知・利用状況 | 44 |
| （2）支援制度の創設・充実希望 | 46 |
| Ⅲ 使用した調査票 | 47 |

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

こども基本法に基づくこども基本計画を策定するため、市内での子ども・子育てに係るニーズや意識を把握し、調査結果を子ども・子育て施策の資料として有効に活用する。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 18歳未満の子どもがいるひとり親家庭の保護者
- (2) 対象者数 1,200人
- (3) 調査方法 対象者に調査票を郵送し、返信用封筒で回答
- (4) 調査期間 令和5年(2023年)12月25日～令和6年(2024年)1月15日

3. 回収状況

| 対象者数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------|-------|-------|
| 1,200 | 362 | 30.2% |

4. 調査項目

- (1) 属性・家庭状況
- (2) 日ごろの子育てについて
- (3) 困っていることについて
- (4) 家計・経済状況について
- (5) 就労について
- (6) 養育費について
- (7) 子どものことについて
- (8) 支援制度について

5. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を表す。
- (2) 選択肢の回答の比率はnを100.0%として算出し、小数点第2位を四捨五入して示した。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、必ずしも100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。
- (4) 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて『思う(計)』とする場合など、2つ以上の選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。

Ⅱ 調査の結果

Ⅱ 調査の結果

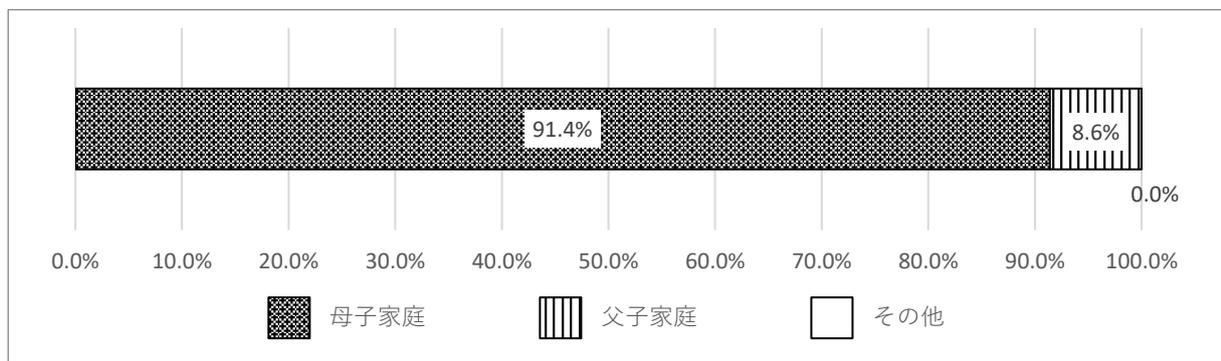
1. 属性・家庭状況

(1) 母子家庭・父子家庭の別

問1 母子家庭・父子家庭の別について（あてはまる番号1つに○）

母子家庭・父子家庭の別について質問したところ、「母子家庭」が91.4%、「父子家庭」が8.6%となった。（図表1-1-1）

図表1-1-1 母子家庭・父子家庭の別

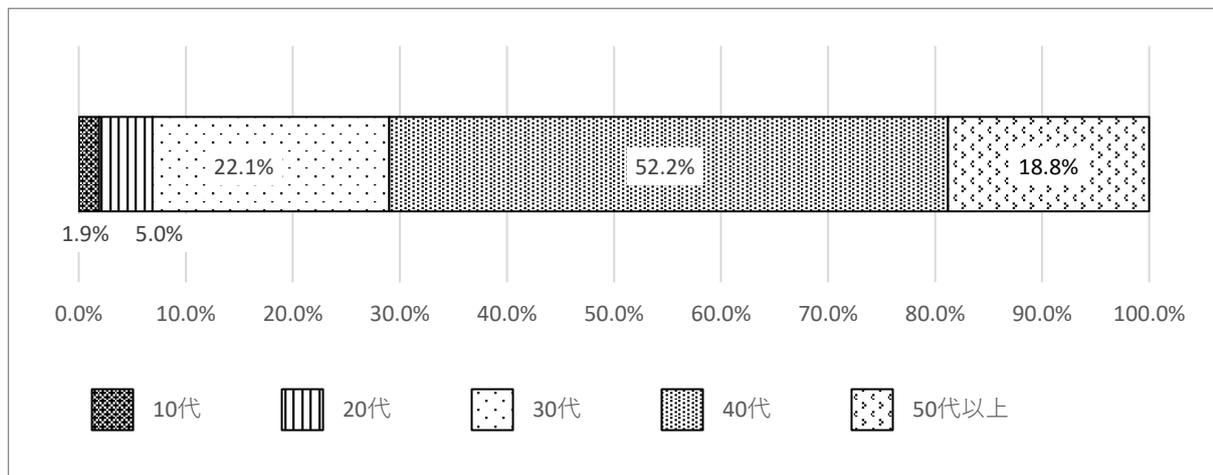


(2) 年代

問2 回答している方の年代について（あてはまる番号1つに○）

年代について質問したところ、「10代」が1.9%、「20代」が5.0%、「30代」が22.1%、「40代」が最も高く52.2%、「50代以上」が18.8%となった。（図表1-2-1）

図表1-2-1 年代

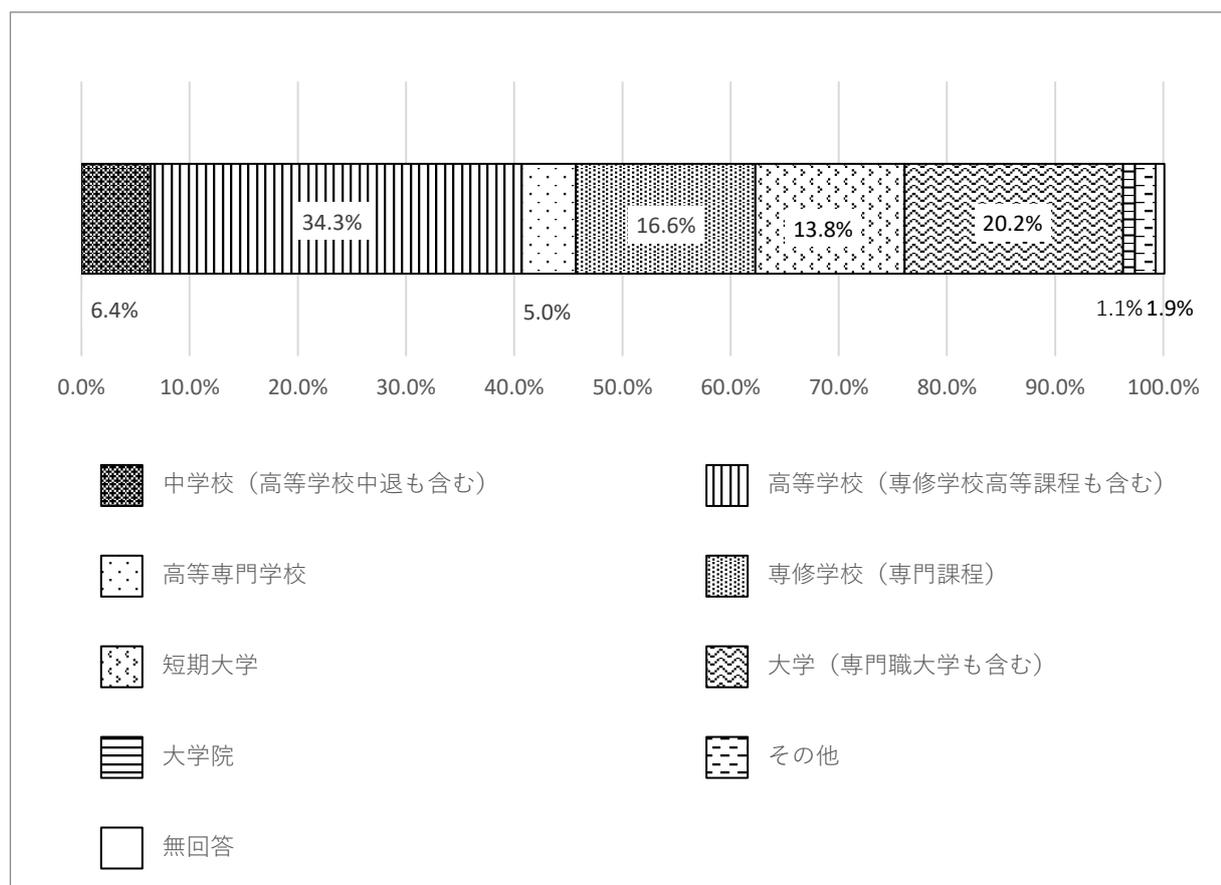


(3) 最終学歴

問3 回答している方の最終学歴について（あてはまる番号1つに○）

最終学歴について質問したところ、「高等学校（専修学校高等課程も含む）」が34.3%で最も高く、次いで「大学（専門職大学も含む）」(20.2%)、「専修学校（専門課程）」(16.6%)の順となった。（図表1-3-1）

図表1-3-1 最終学歴

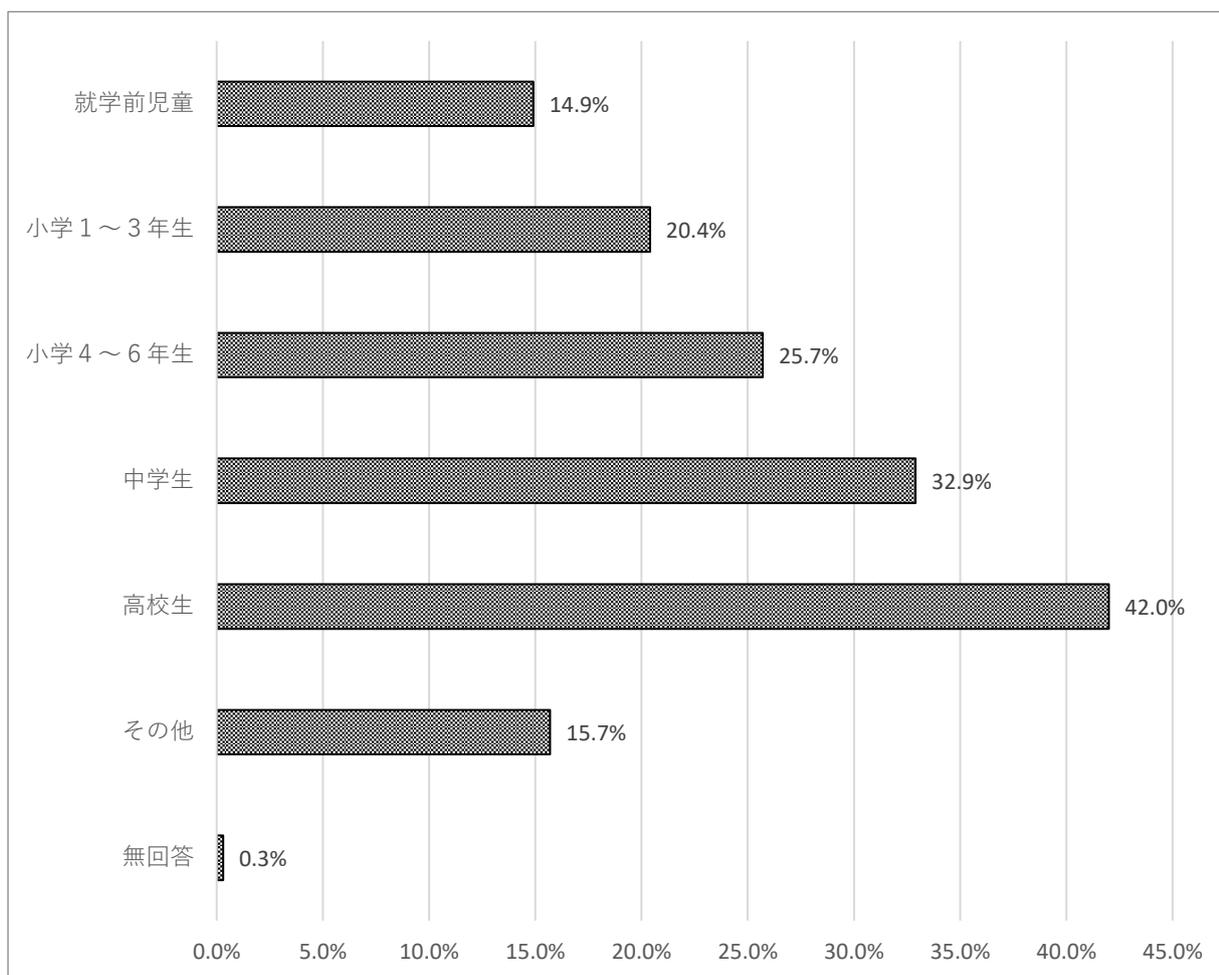


(4) 同居している子どもの年齢帯・人数

問4 同居しているお子さんの人数について※令和5年12月1日現在で20歳未満の者・複数人回答

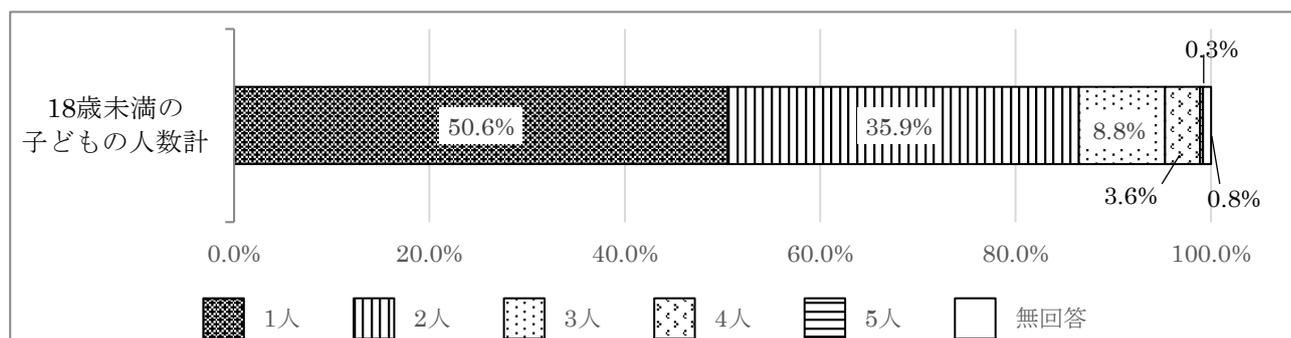
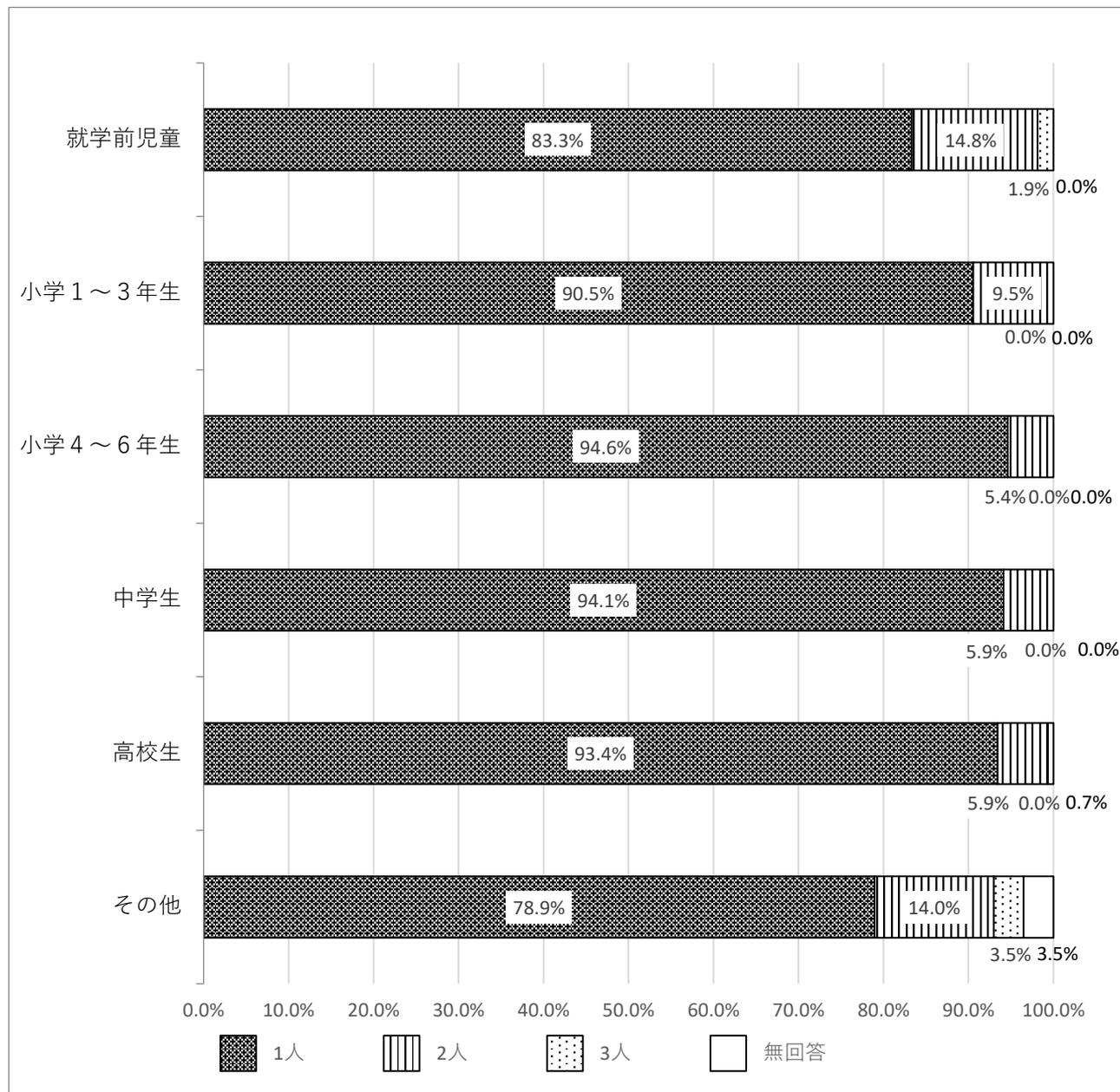
同居している18歳未満の子どもの年齢帯を質問したところ、「高校生」が42.0%で最も高く、次いで「中学生」(32.9%)、「小学4～6年生」(25.7%)の順となった。(図表1-4-1)

図表1-4-1 同居している子どもの年齢帯



年齢帯ごとの同居している子どもの人数は、以下のとおりとなった。(図表1-4-2)
 1世帯当たりの子どもの人数は、1人(50.6%)が最も多くなっている。

図表1-4-2 年齢帯ごとの同居している子どもの人数

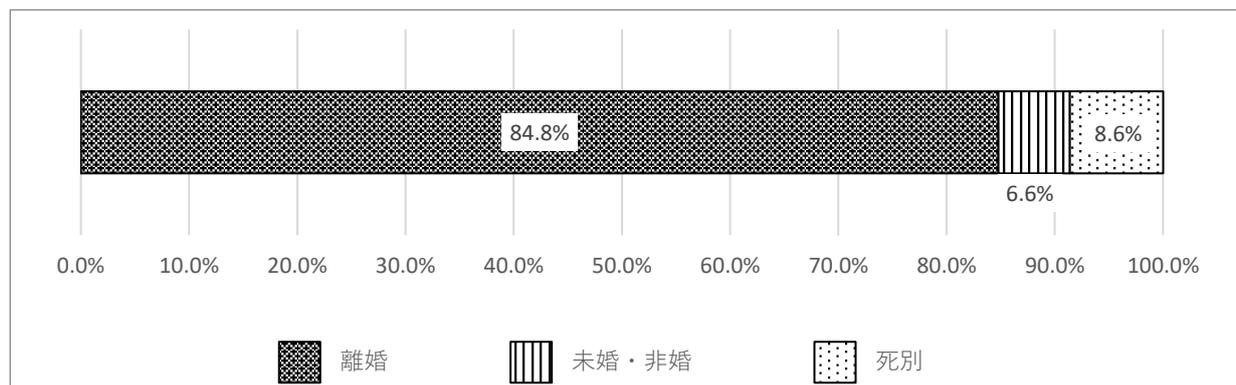


(5) ひとり親家庭となった理由

問5 ひとり親家庭となった理由について（あてはまる番号1つに○）

ひとり親家庭となった理由を質問したところ、「離婚」が84.8%で最も高く、次いで「死別」(8.6%)、「未婚・非婚」(6.6%)の順となった。(図表1-5-1)

図表1-5-1 ひとり親家庭となった理由

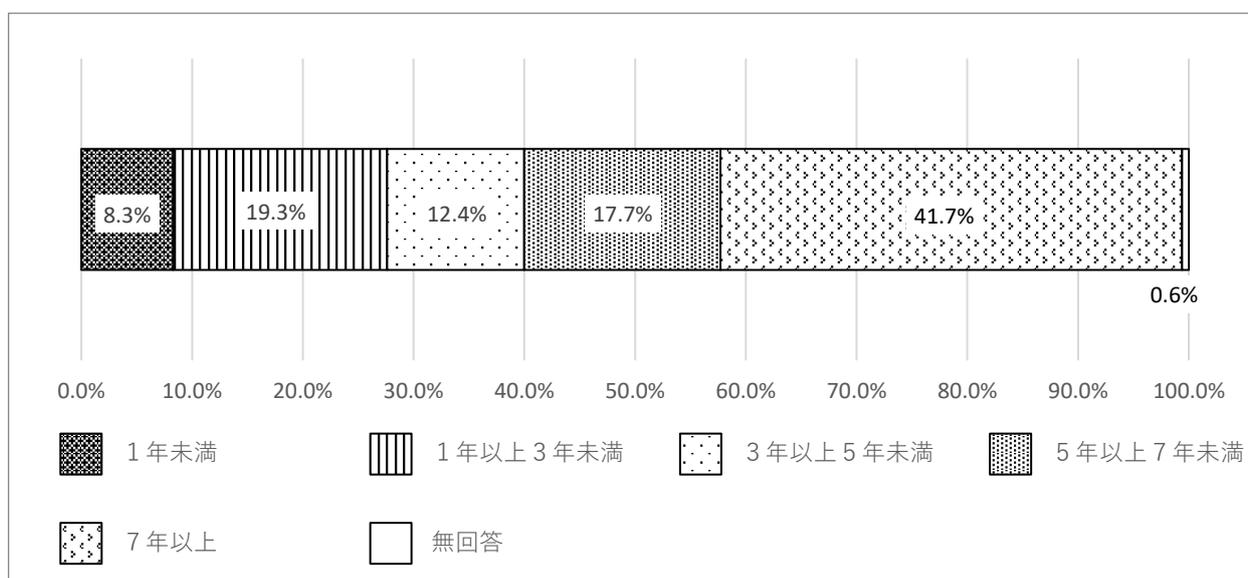


(6) ひとり親になってからの期間

問6 ひとり親家庭になってからの期間について（あてはまる番号1つに○）

ひとり親になってからの期間を質問したところ、「7年以上」が41.7%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」(19.3%)、「5年以上7年未満」(17.7%)の順となった。(図表1-6-1)

図表1-6-1 ひとり親家庭になってからの期間



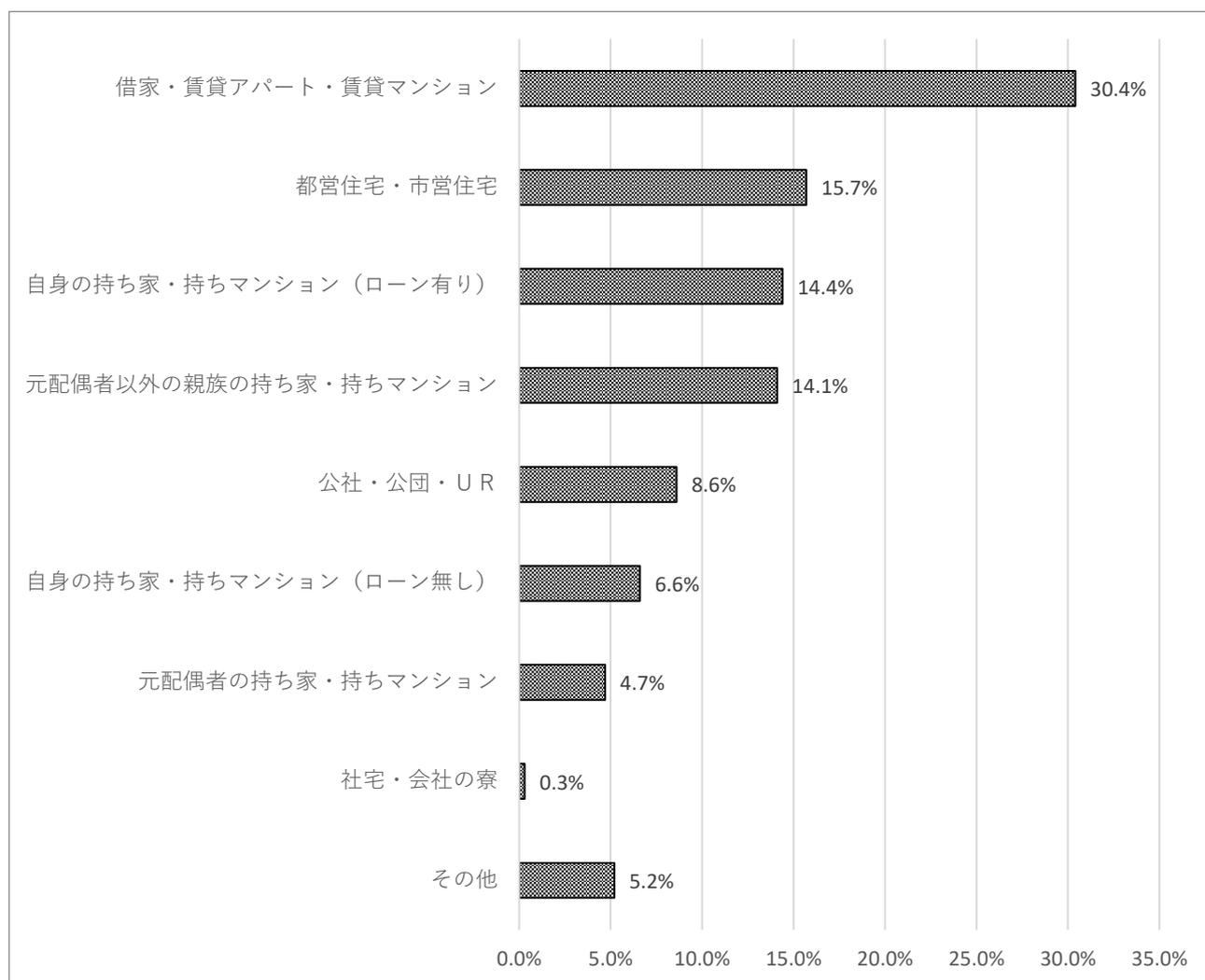
(7) 住居の種別

問7 住居について

(1) 住居の種別について（あてはまる番号1つに○）

住居の種別を質問したところ、「借家・賃貸アパート・賃貸マンション」が30.4%で最も高く、次いで「都営住宅・市営住宅」(15.7%)、「自身の持ち家・持ちマンション（ローン有り）」(14.4%)の順となった。(図表1-7-1)

図表1-7-1 住居の種別



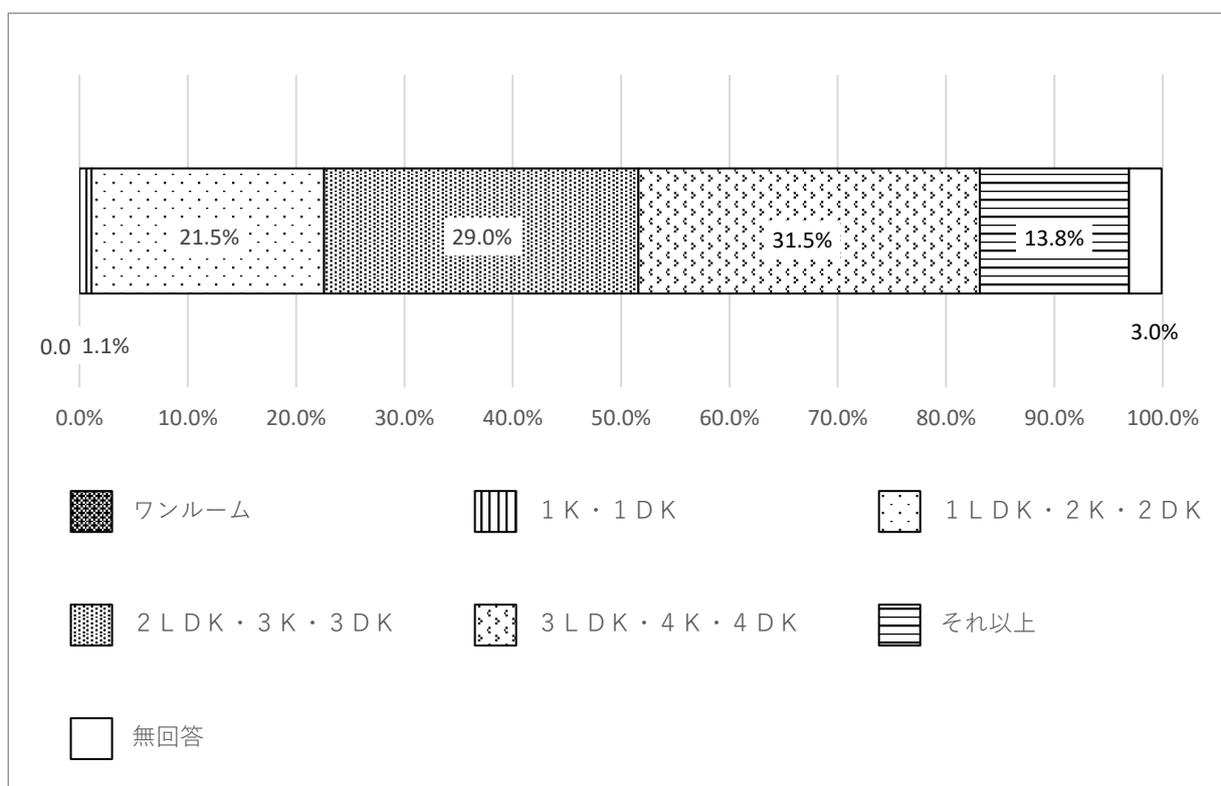
(8) 住居の間取り

問7 住居について

(2) 間取りについて (あてはまる番号1つに○)

住居の間取りを質問したところ、「3LDK・4K・4DK」が31.5%で最も高く、次いで「2LDK・3K・3DK」(29.0%)、「1LDK・2K・2DK」(21.5%)の順となった。(図表1-8-1)

図表1-8-1 住居の間取り



2. 日ごろの子育てについて

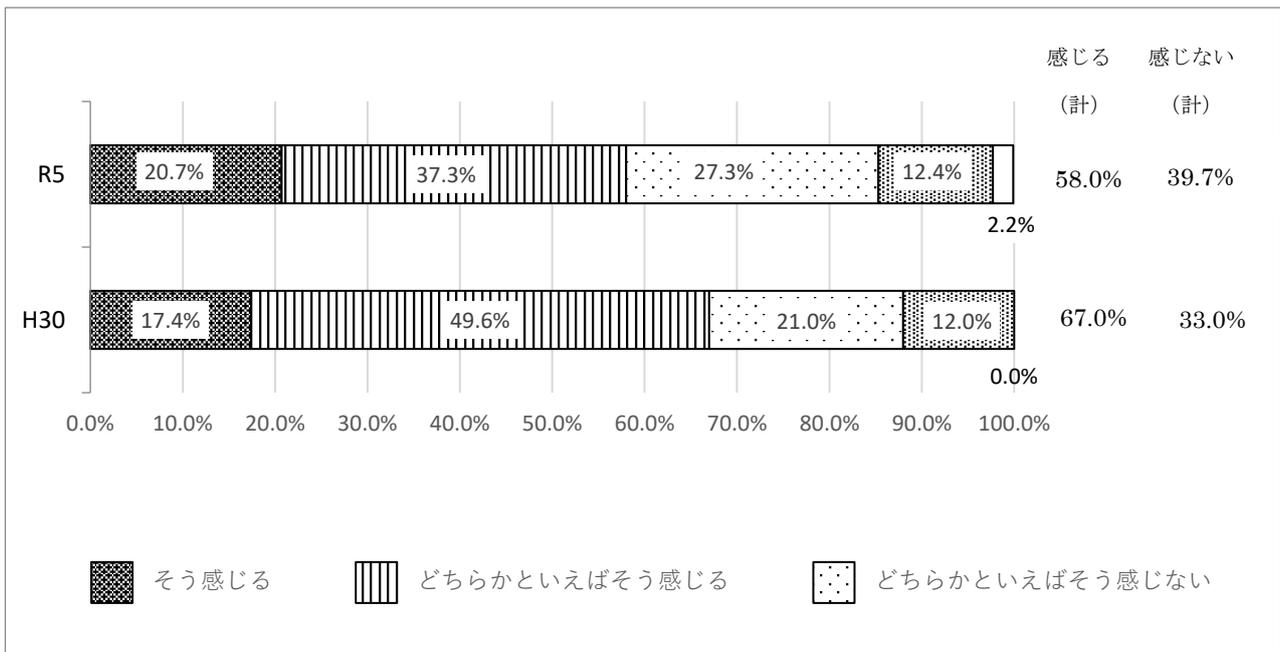
(1) 安心して子育てができていると感じるか

問8 安心して子育てができていると感じていますか（あてはまる番号1つに○）

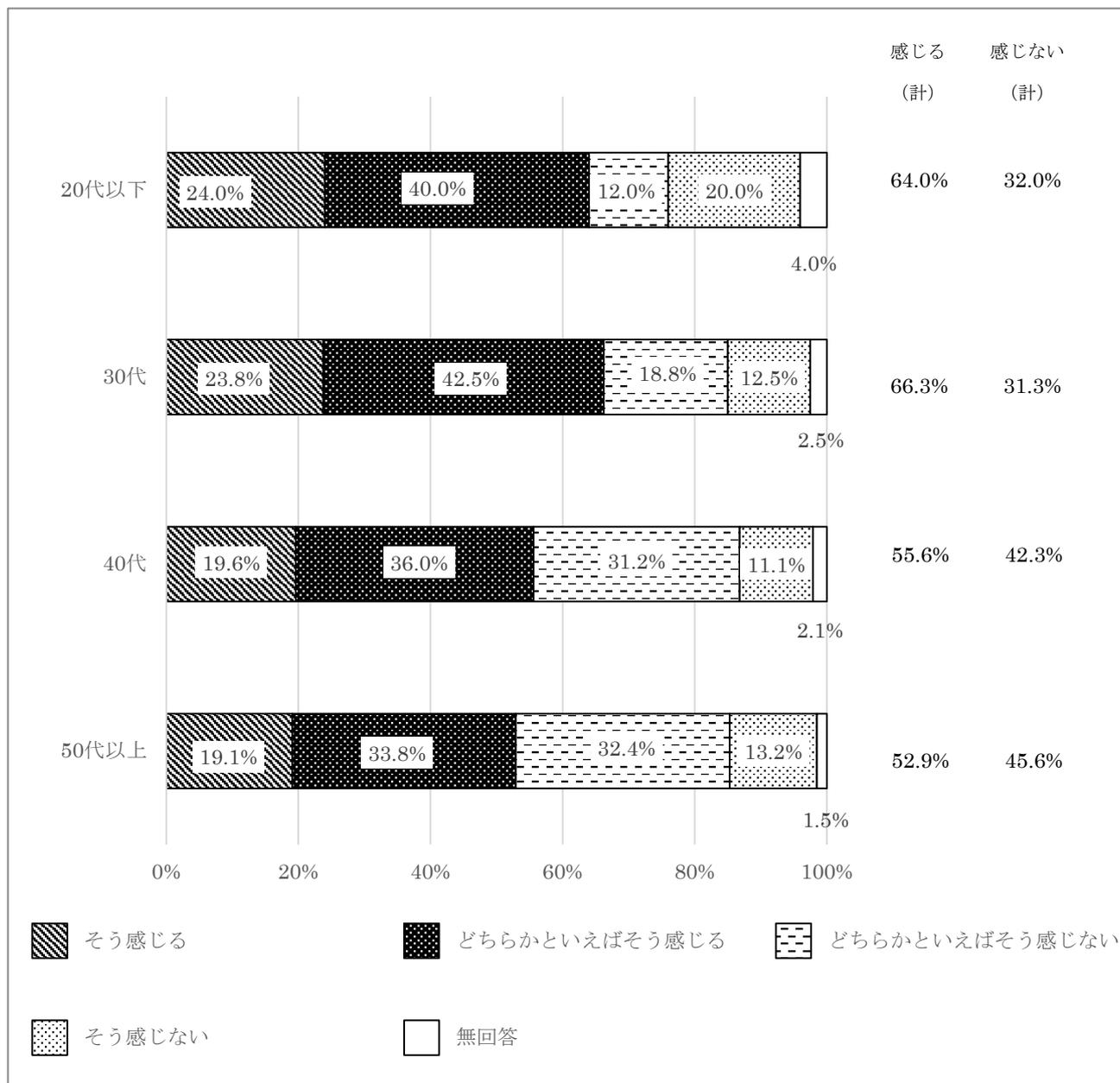
安心して子育てができていると感じるかを質問したところ、「そう感じる」（20.7%）と「どちらかといえばそう感じる」（37.3%）を合わせた「感じる（計）」は58.0%となった。一方、「どちらかといえばそう感じない」（27.3%）と「感じない」（12.4%）を合わせた「感じない（計）」は39.7%となった。（図表2-1-1）

平成30年度調査と比較すると、「感じる（計）」は67.0%から58.0%に減少し、「感じない（計）」は33.0%から39.7%に増加した。

図表2-1-1 安心して子育てができていると感じるか



年代別では、「感じる（計）」は20代（64.0%）で最も高く、50代以上（52.9%）で最も低くなった。「感じない（計）」は50代以上（45.6%）で最も高く、30代（31.3%）で最も低くなった。



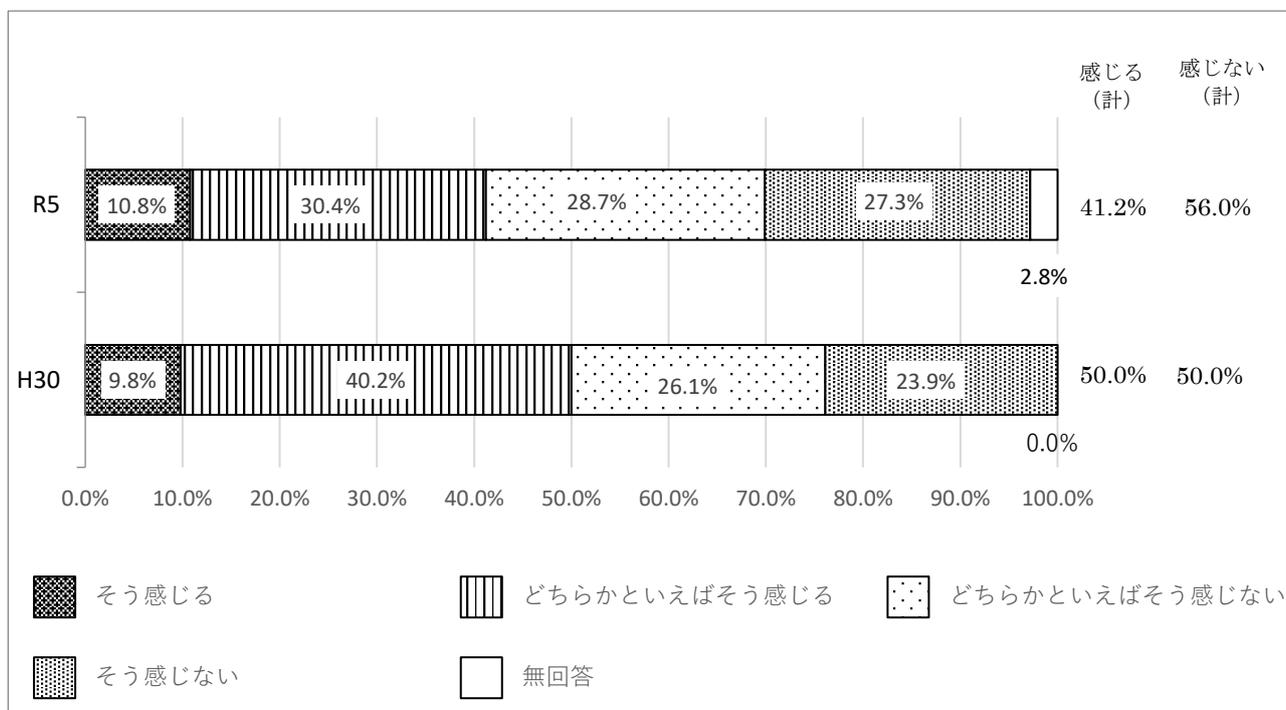
(2) 地域の方が子育てを支えてくれていると感じるか

問9 地域の方が子育てを支えてくれていると感じていますか（あてはまる番号1つに○）

地域の方が子育てを支えてくれていると感じるかを質問したところ、「そう感じる」（10.8%）と「どちらかといえばそう感じる」（30.4%）を合わせた「感じる（計）」は41.2%となった。一方、「どちらかというともう感じない」（28.7%）と「感じない」（27.3%）を合わせた「感じない（計）」は56.0%となった。（図表2-2-1）

平成30年度調査との比較では、「感じる（計）」は50.0%から41.2%に減少した。「感じない（計）」は50.0%から56.0%に増加した。

図表2-2-1 地域の方が子育てを支えてくれていると感じるか



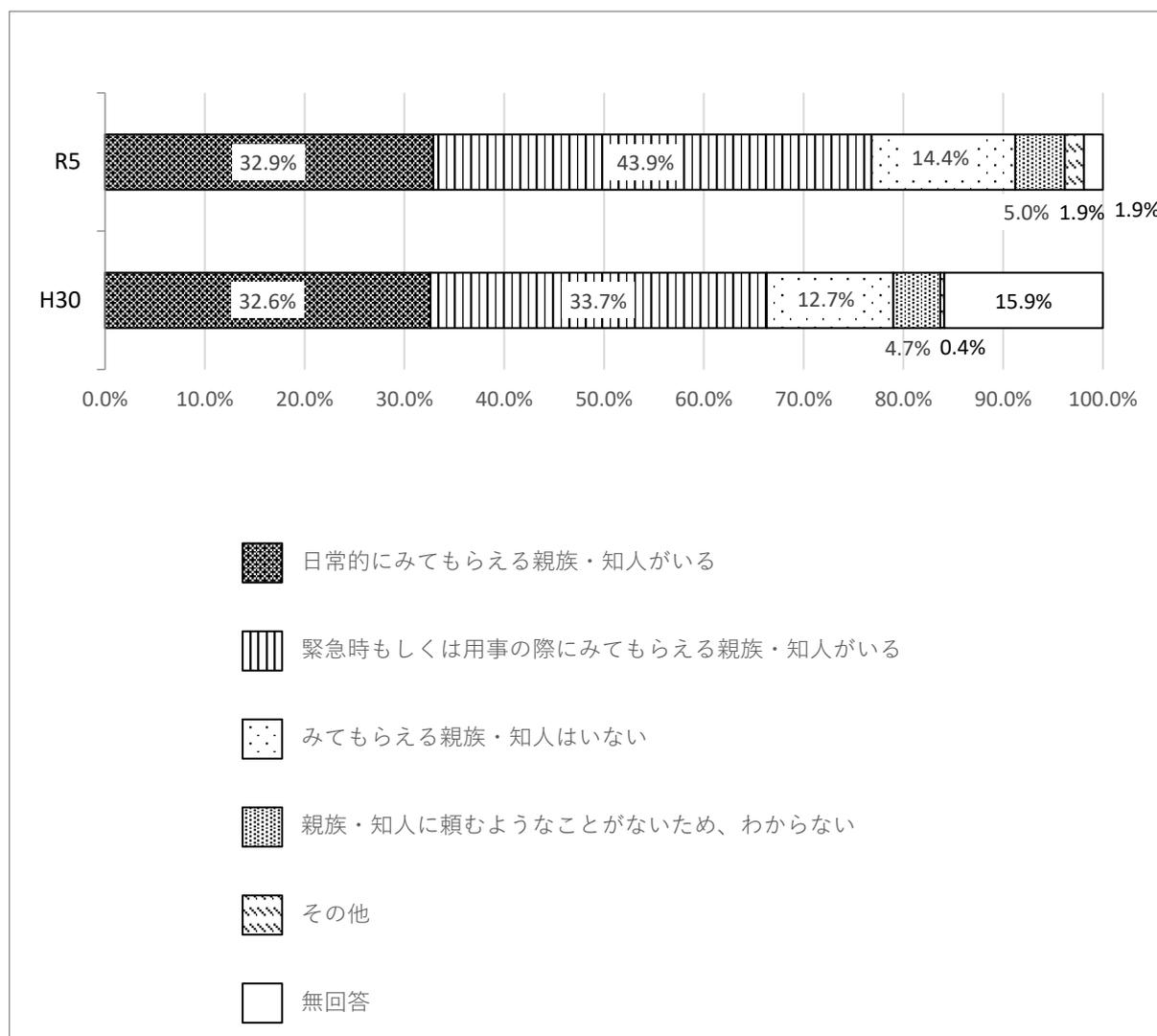
(3) 日ごろ子どもをみてもらえる親族・知人

問10 日ごろ子どもをみてもらえる親族・知人はいますか（あてはまる番号1つに○）

日ごろ子どもをみてもらえる親族・知人がいるかを質問したところ、「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」が32.9%、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる親族・知人がいる」が43.9%となった。一方「みてもらえる親族・知人はいない」は14.4%となった。（図表2-3-1）

平成30年度調査との比較では、平成30年度調査で無回答が多かったため単純な比較はできないが、無回答を除いた割合では「日常的にみてもらえる親族・知人がいる」がやや減少し、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる親族・知人がいる」がやや増加している。

図表2-3-1 日ごろ子どもをみてもらえる親族・知人



3. 困っていることについて

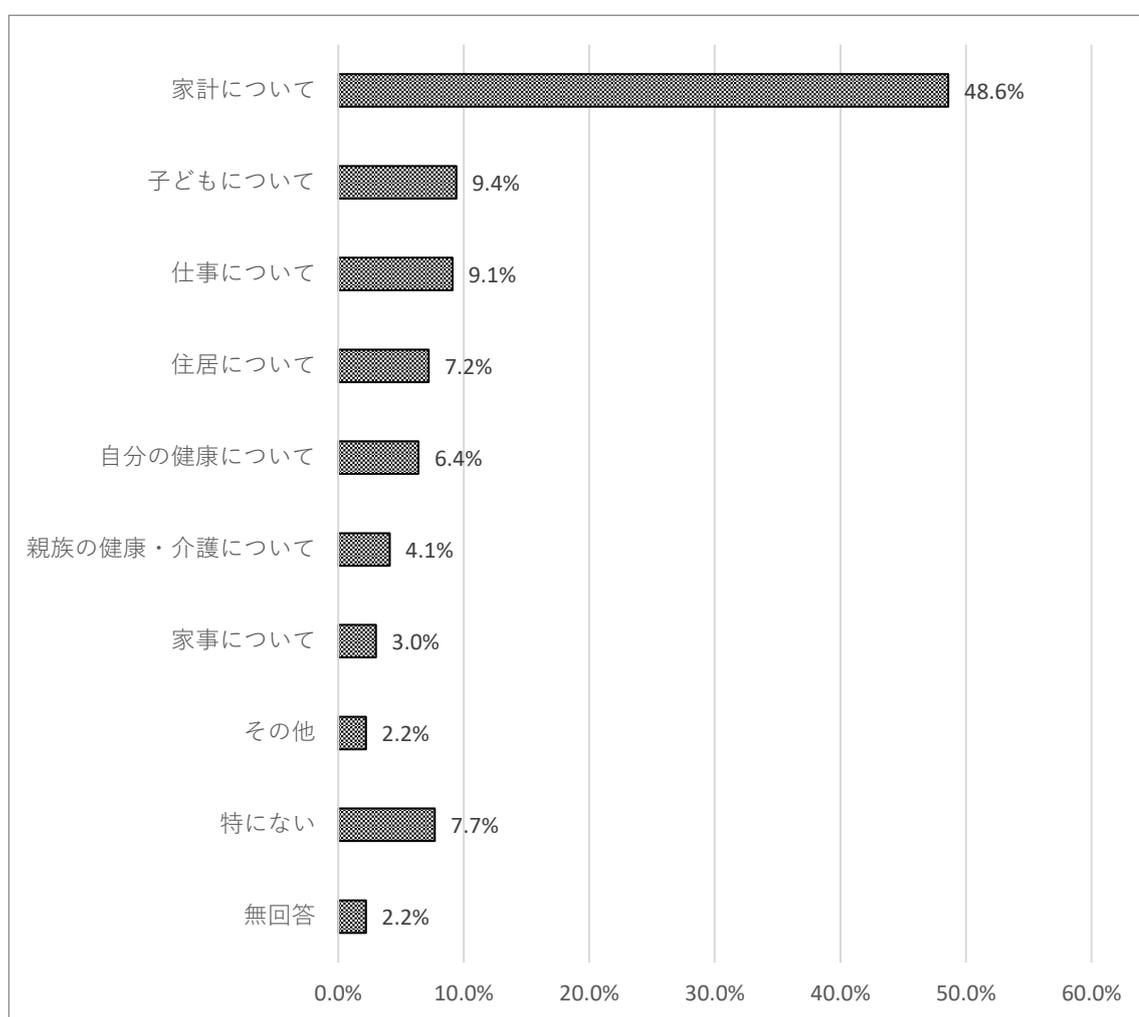
(1) 現在一番困っていること

問11 現在一番困っていることと、ひとり親になったときに一番困ったことについて

(1) 現在一番困っていること (あてはまる番号1つに○)

現在一番困っていることを質問したところ、「家計について」が48.6%で最も高く、次いで「子どもについて」(9.4%)、「仕事について」(9.1%)の順となった。(図表3-1-1)

図表3-1-1 現在一番困っていること

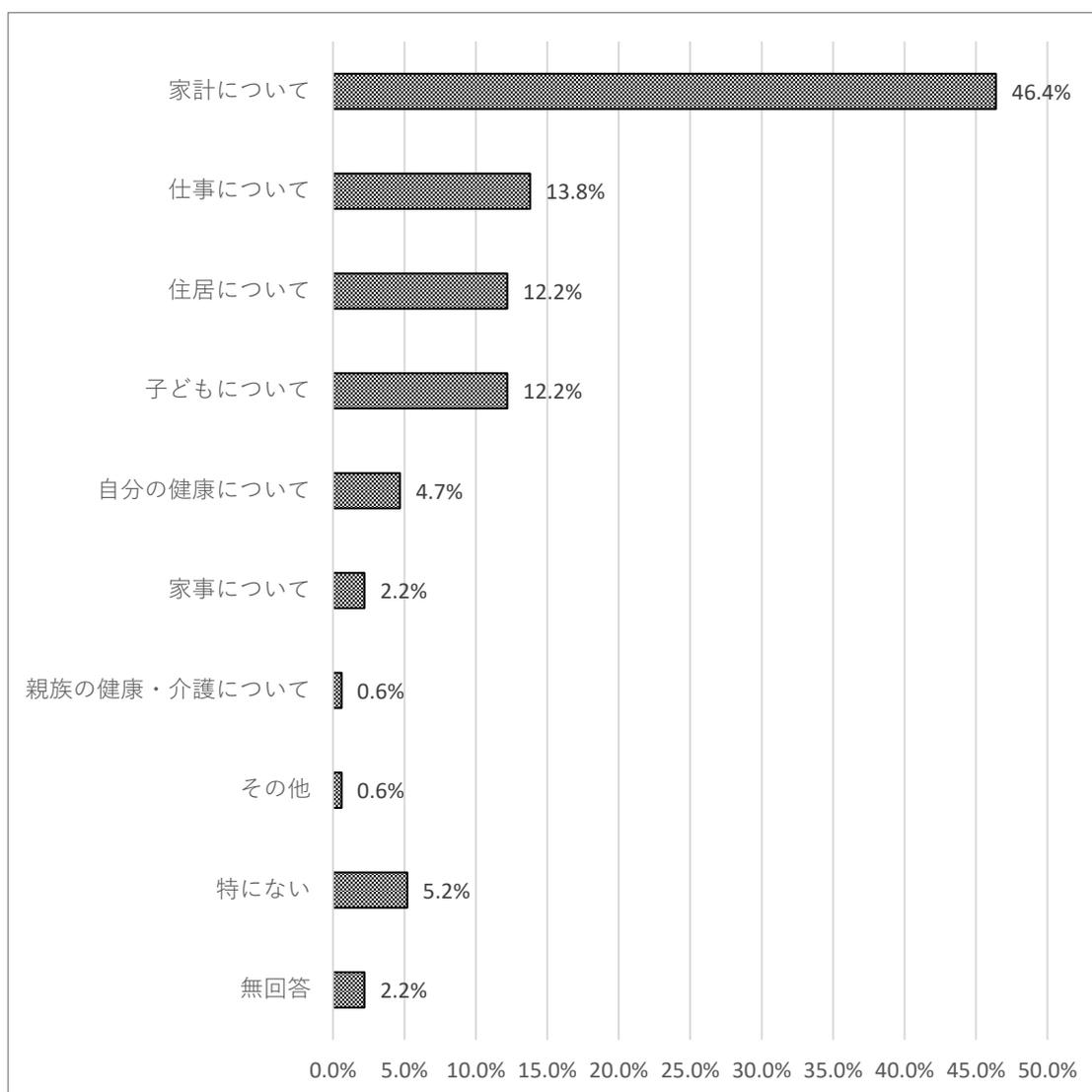


(2) ひとり親になったときに一番困ったこと

問11 現在一番困っていることと、ひとり親になったときに一番困ったことについて
(2) ひとり親になったときに一番困ったこと (あてはまる番号1つに○)

ひとり親になったときに一番困ったことを質問したところ、「家計について」が46.4%で最も高く、次いで「仕事について」(13.8%)、「住居について」(12.2%)と「子どもについて」(12.2%)が同率の順となった。(図表3-2-1)

図表3-2-1 ひとり親になったときに一番困ったこと

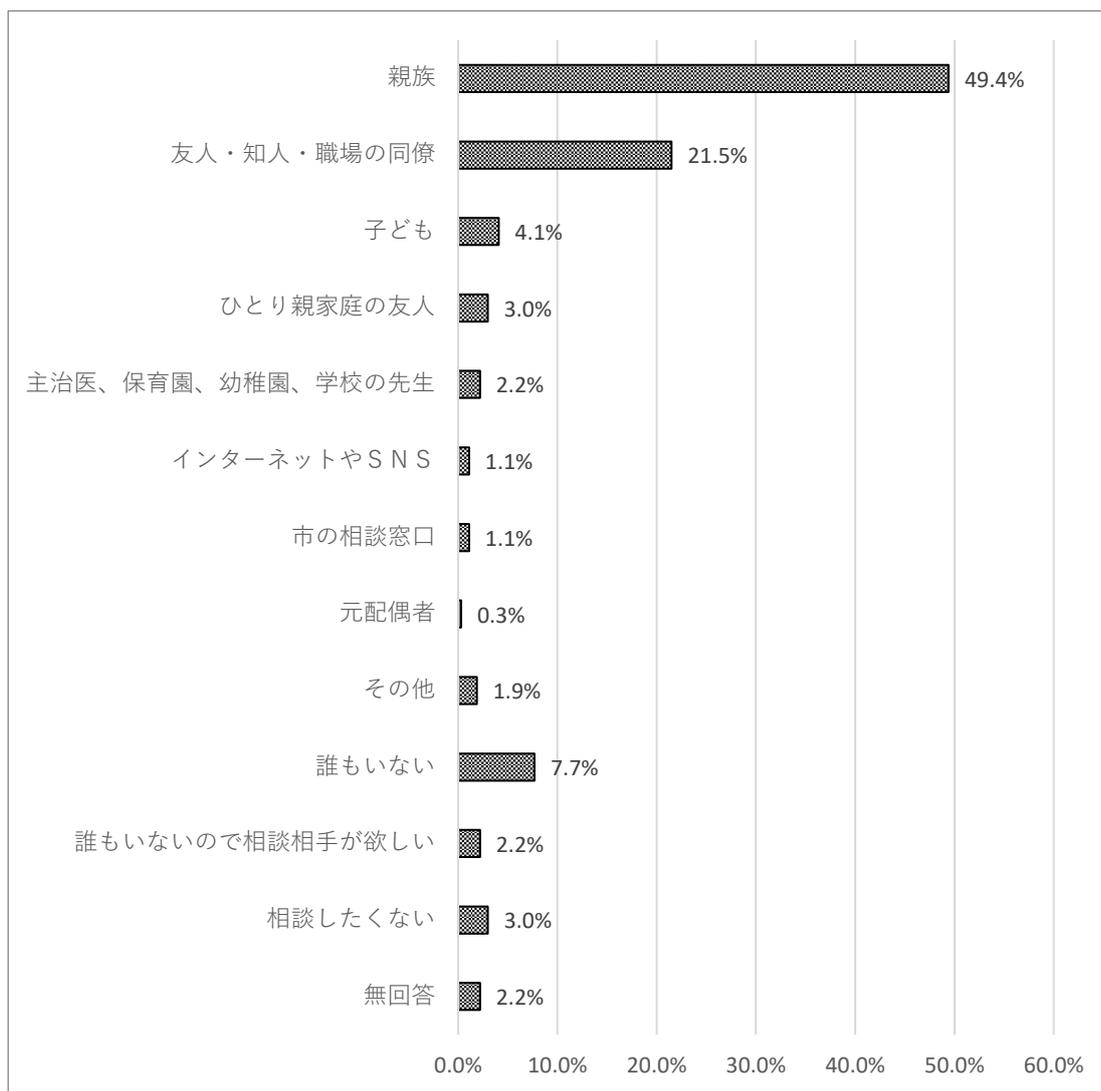


(3) 相談相手

問12 相談相手について（あてはまる番号1つに○）

相談相手について質問したところ、「親族」が49.4%で最も高く、次いで「友人・知人・職場の同僚」(21.5%)、「子ども」(4.1%)の順となった。一方で「誰もいない」の回答も7.7%あった。(図表3-3-1)

図表3-3-1 相談相手

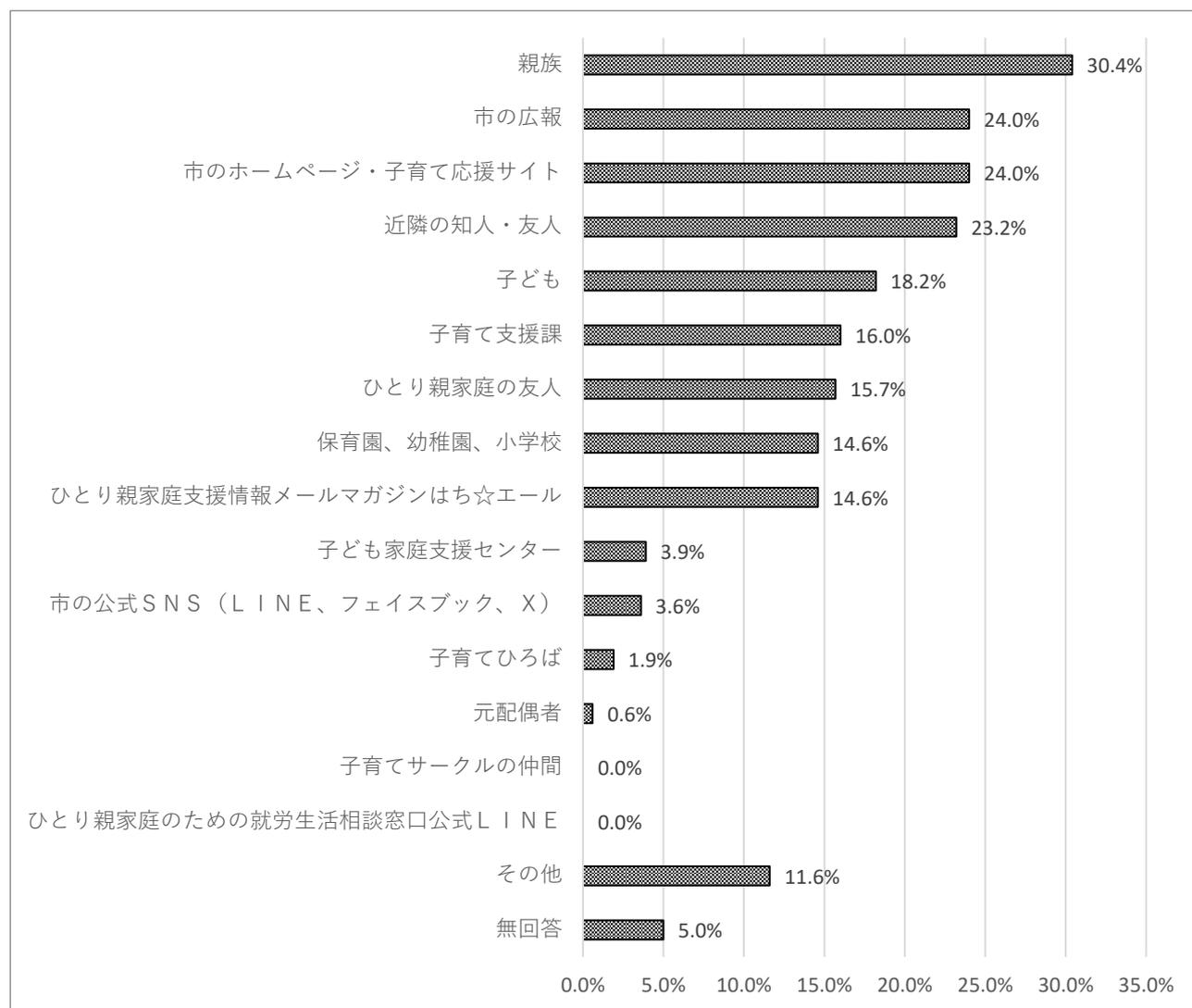


(4) 情報収集の方法

問13 情報収集の方法について（あてはまる番号すべてに○）

情報収集の方法について質問したところ、「親族」が30.4%で最も高く、次いで「市の広報」(24.0%)と「市のホームページ・子育て応援サイト」(24.0%)が同率となった。(図表3-4-1)

図表3-4-1 情報収集の方法



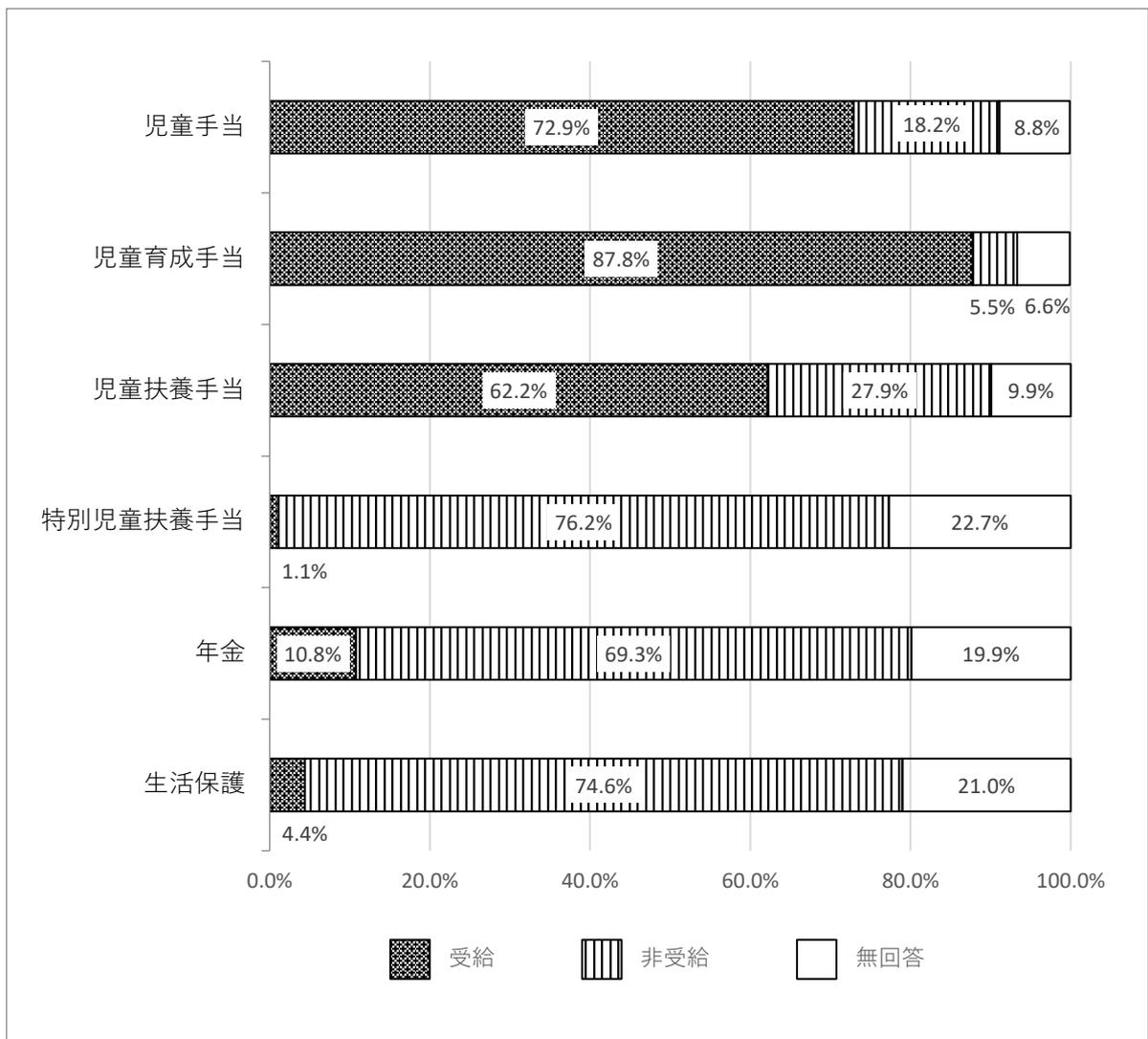
4. 家計・経済状況について

(1) 公的年金、社会保障給付金の受給

問14 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。

公的年金、社会保障給付金の受給について質問したところ、以下のとおりだった。(図表4-1-1)

図表4-1-1 公的年金、社会保障給付金の受給

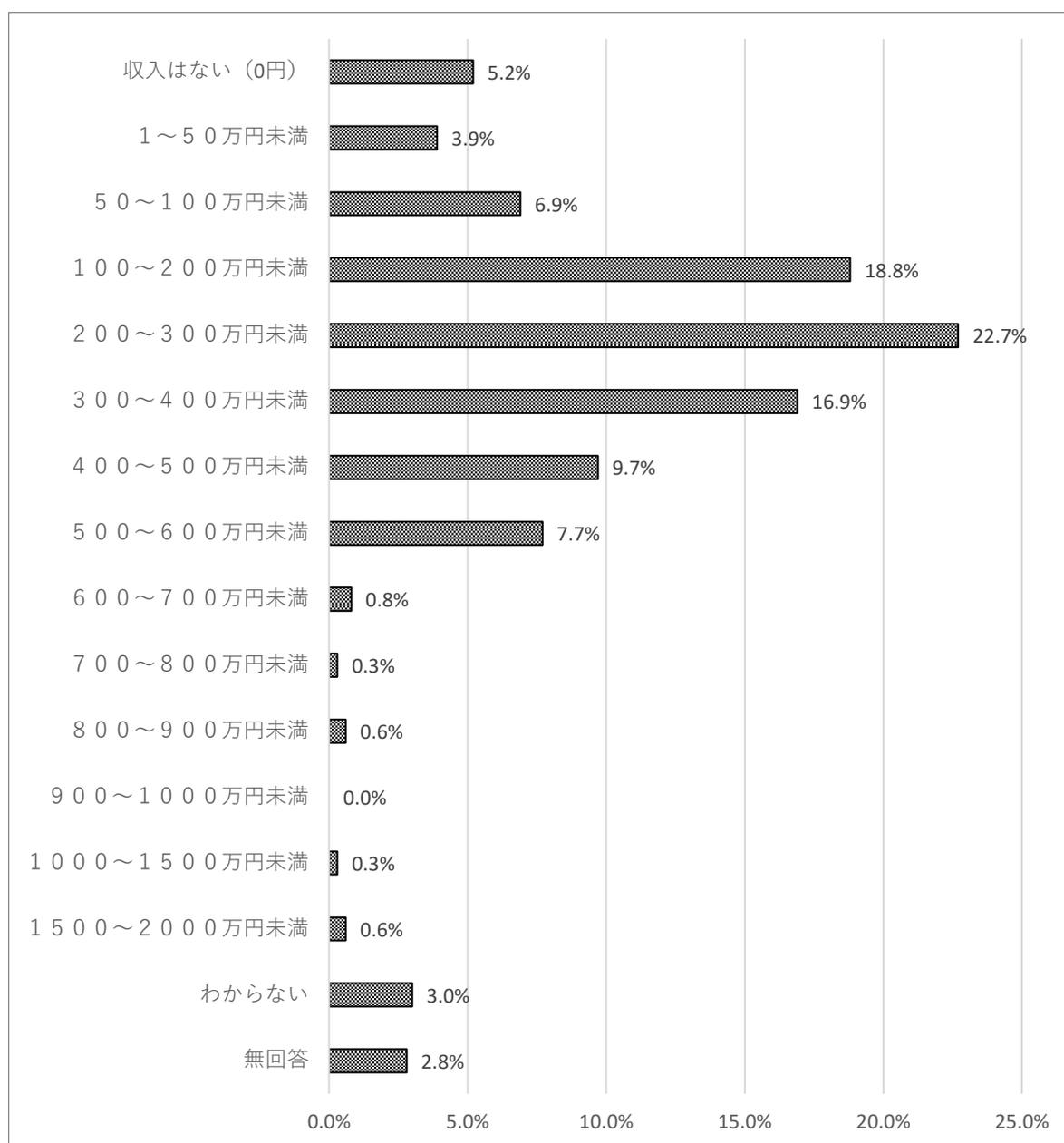


(2) 公的年金、社会保障給付金以外の収入

問15 問14で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)はいくらですか。
(あてはまる番号1つに○)

公的年金、社会保障給付金以外の収入について質問したところ、「200～300万円未満」が22.7%で最も高く、次いで「100～200万円未満」(18.8%)、「300～400万円未満」(16.9%)の順となった。(図表4-2-1)

図表4-2-1 公的年金、社会保障給付金以外の収入



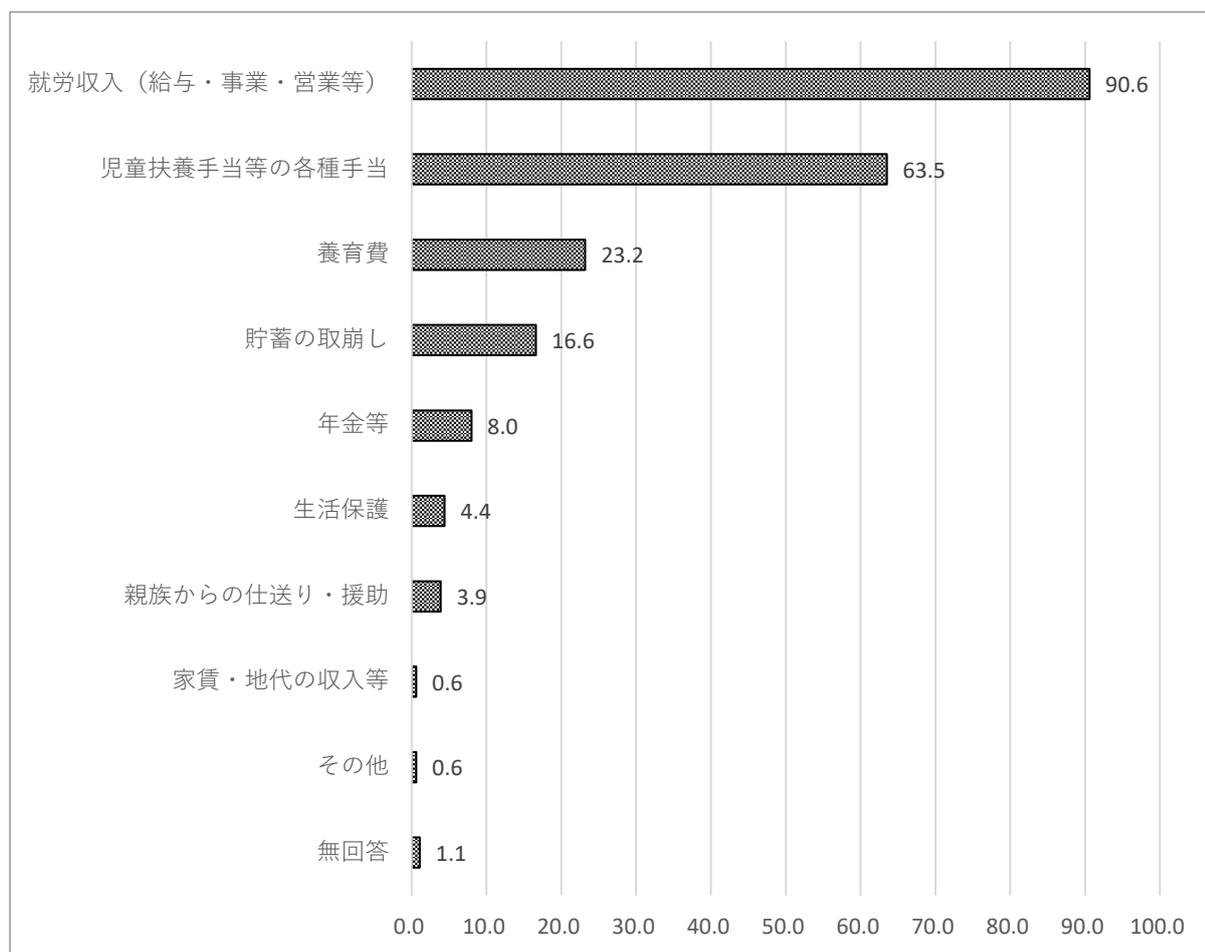
(3) 収入の種類

問16 回答している方の収入と資産について

(1) 収入の種類について（あてはまる番号すべてに○）

収入の種類について質問したところ、「就労収入（給与・事業・営業等）」が90.6%で最も高く、次いで「児童扶養手当等の各種手当」（63.5%）、「養育費」（23.2%）の順となった。（図表4-3-1）

図表4-3-1 収入の種類



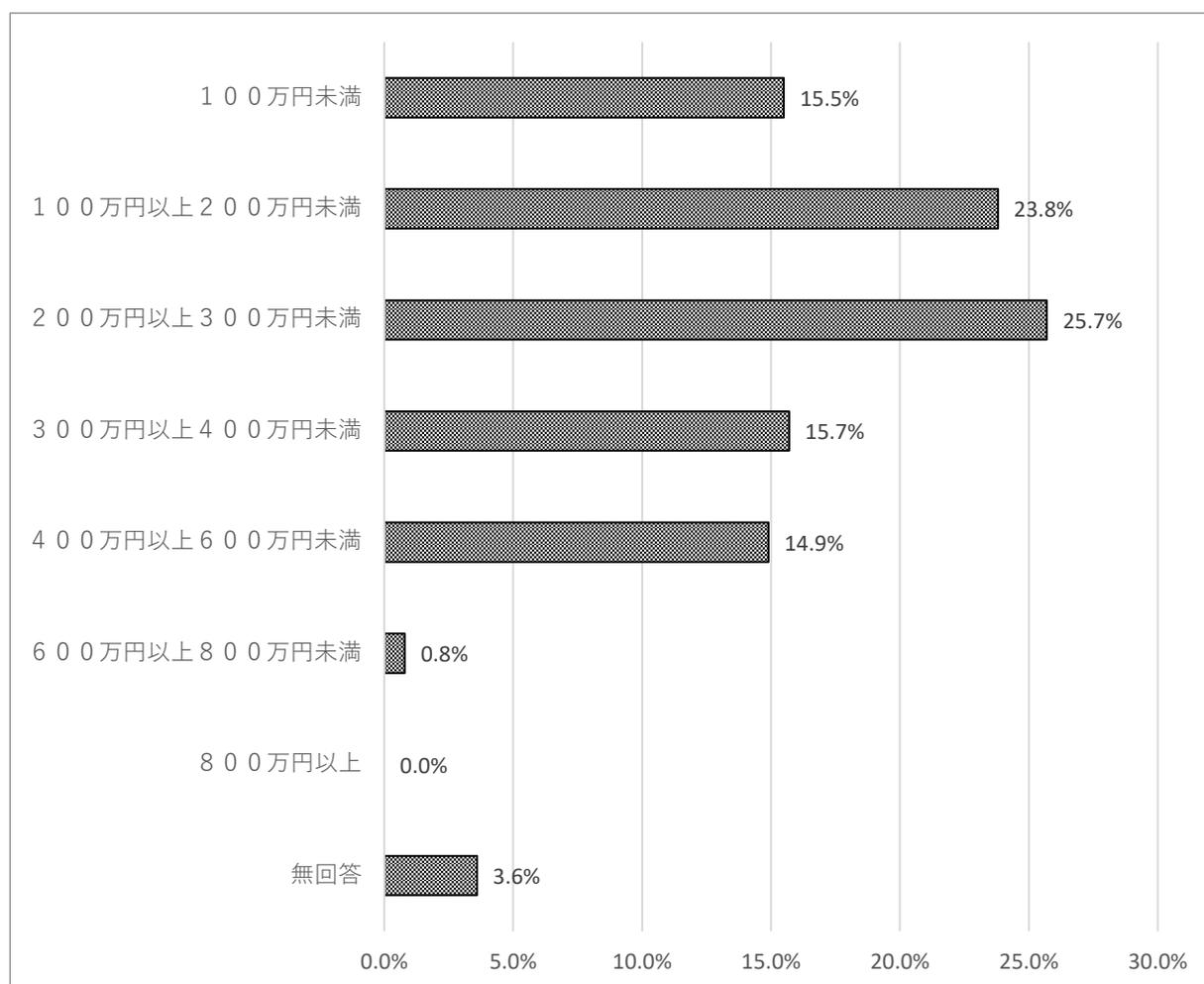
(4) 就労収入

問16 回答している方の収入と資産について

(2) 年間稼働収入（就労収入）について（あてはまる番号1つに○）

就労収入の額について質問したところ、「200万円以上300万円未満」が25.7%で最も高く、次いで「100万円以上200万円未満」(23.8%)、「300万円以上400万円未満」(15.7%)の順となった。(図表4-4-1)

図表4-4-1 就労収入



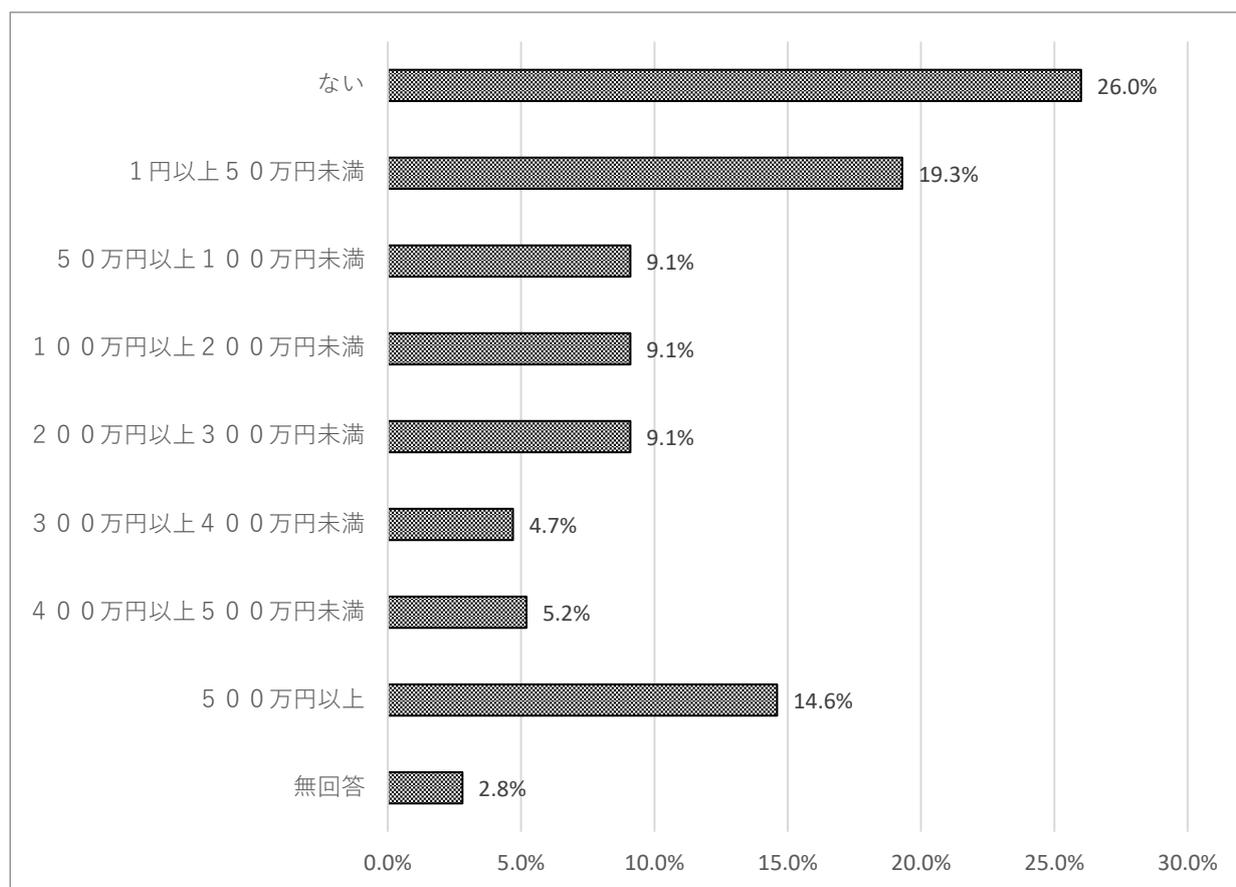
(5) 預貯金額

問16 回答している方の収入と資産について

(3) 預貯金額（財形貯蓄、株式・債券等を含む）について（あてはまる番号1つに○）

預貯金額を質問したところ、「ない」が26.0%で最も高く、次いで「1円以上50万円未満」(19.3%)、「500万円以上」(14.6%)の順となった。(図表4-4-1)

図表4-5-1 預貯金額

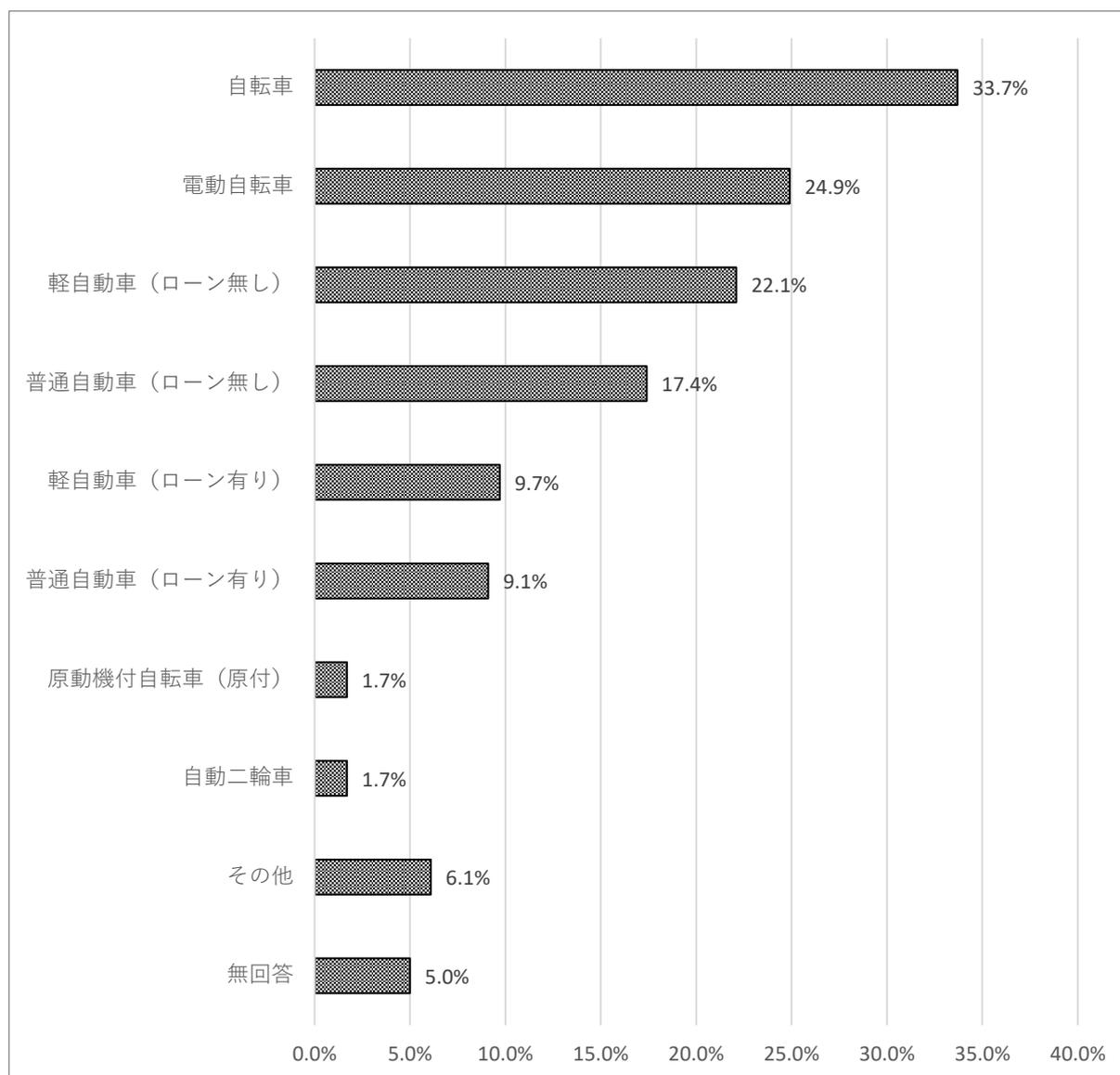


(6) 交通手段の所有状況

問17 車など、交通手段の所有状況について（あてはまる番号すべてに○）

交通手段の所有状況を質問したところ、「自転車」が33.7%で最も高く、次いで「電動自転車」(24.9%)、「軽自動車（ローン無し）」(22.1%)の順となった。（図表4-6-1）

図表4-6-1 交通手段の所有状況

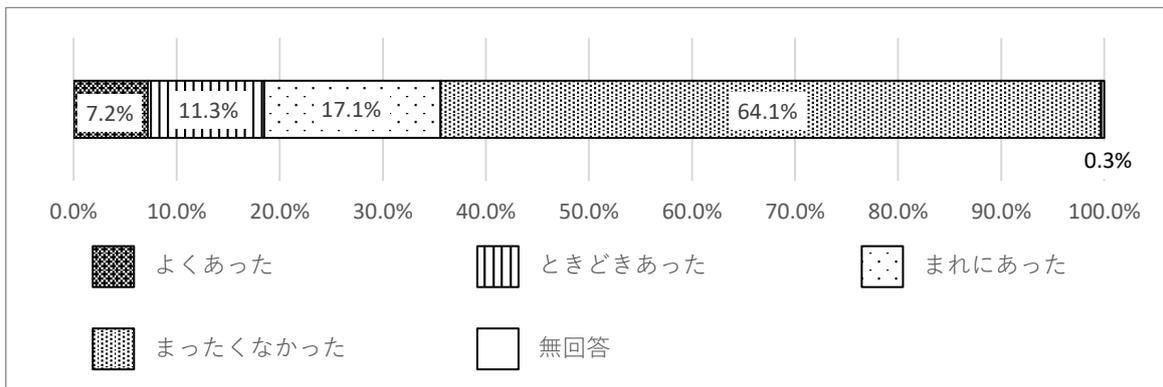


(7) 食料が買えなかった経験

問 18 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか（あてはまる番号1つに○）

食料が買えなかった経験を質問したところ、「よくあった」が7.2%、「ときどきあった」が11.3%、「まれにあった」が17.1%となった。一方、「まったくなかった」は64.1%となった。（図表4-7-1）

図表4-7-1 食料が買えなかった経験

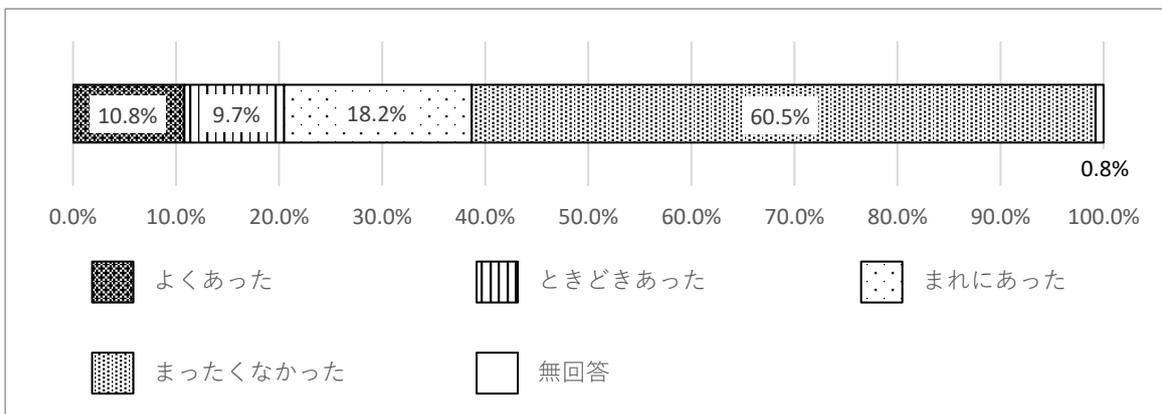


(8) 衣類が買えなかった経験

問 19 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか（あてはまる番号1つに○）

衣類が買えなかった経験を質問したところ、「よくあった」が10.8%、「ときどきあった」が9.7%、「まれにあった」が18.2%となった。一方、「まったくなかった」は60.5%となった。（図表4-8-1）

図表4-8-1 衣類が買えなかった経験

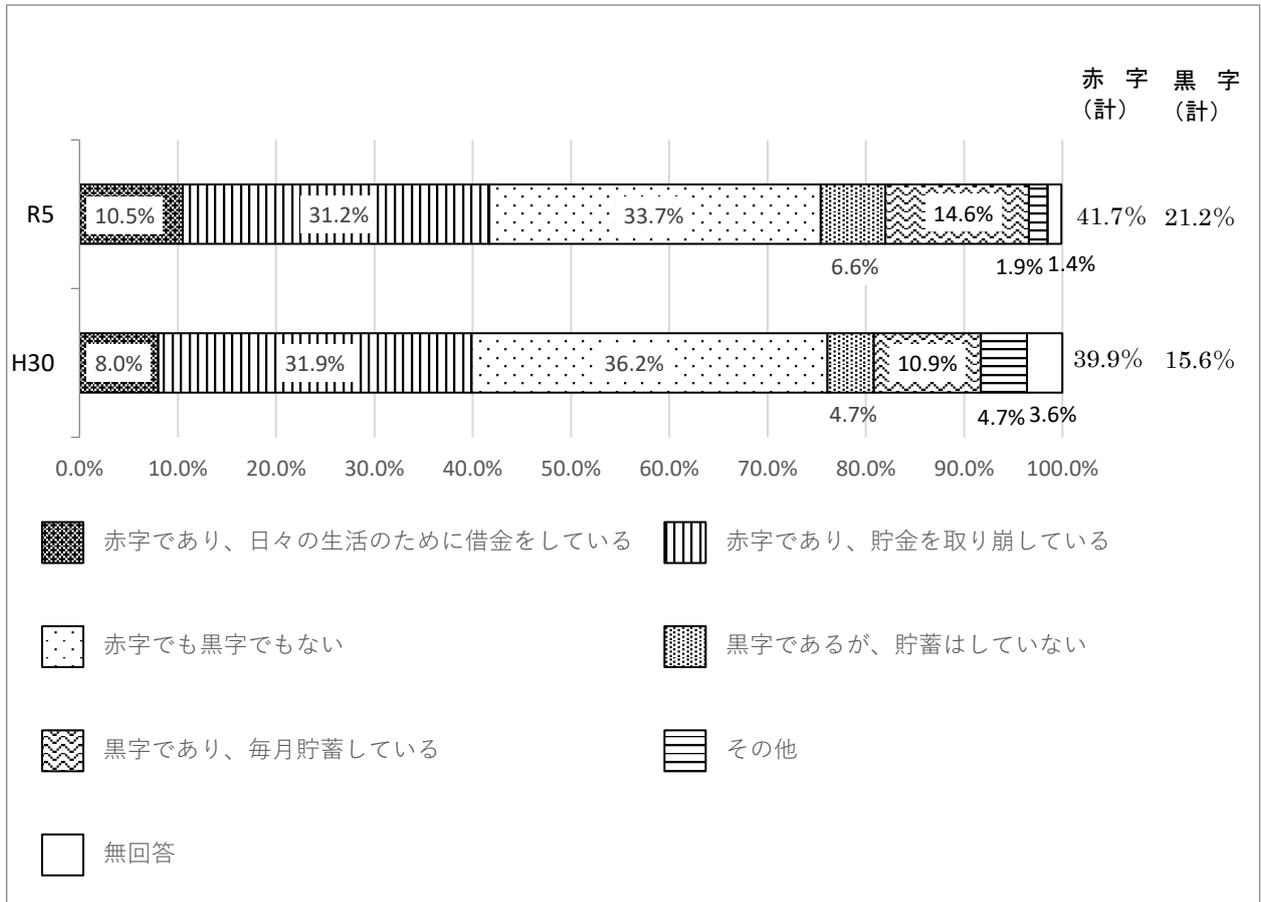


(9) 世帯の家計について

問 20 世帯の家計について、最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください

世帯の家計について質問したところ、「赤字であり、日々の生活のために借金をしている」(10.5%)と「赤字であり、貯金を取り崩している」(31.2%)を合わせた「赤字(計)」は41.7%となった。一方「黒字であるが、貯蓄はしていない」(6.6%)と「黒字であり、毎月貯蓄している」(14.6%)を合わせた「黒字(計)」は21.2%となった。(図表4-9-1)
 平成30年度調査と比較すると、「黒字(計)」が大きく上昇した一方で、「赤字(計)」もやや増加している。

図表4-9-1 世帯の家計

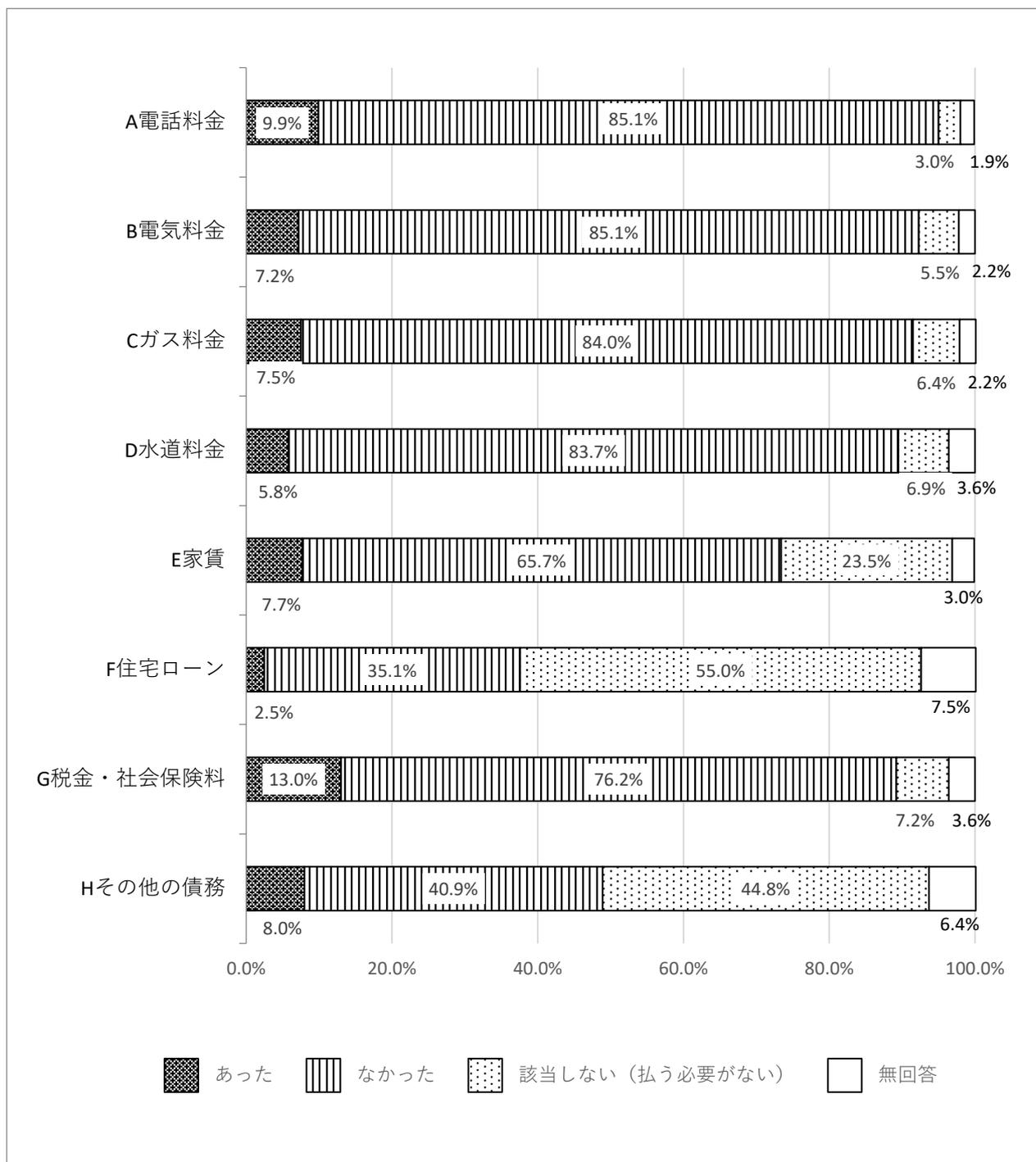


(10) 経済的な理由で支払えなかったことがあったもの

問 21 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Hのサービス・料金について、支払えなかったことがありますか（それぞれあてはまる番号1つに○）

経済的な理由で支払えなかったことがあったものについて質問したところ、「あった」と回答した割合は「その他の債務」を除くと、「税金・社会保険料」が13.0%で最も高く、次いで「電話料金」(9.9%)、「家賃」(7.7%)の順となった。(図表4-10-1)

図表4-10-1 経済的な理由で支払えなかったことがあったもの



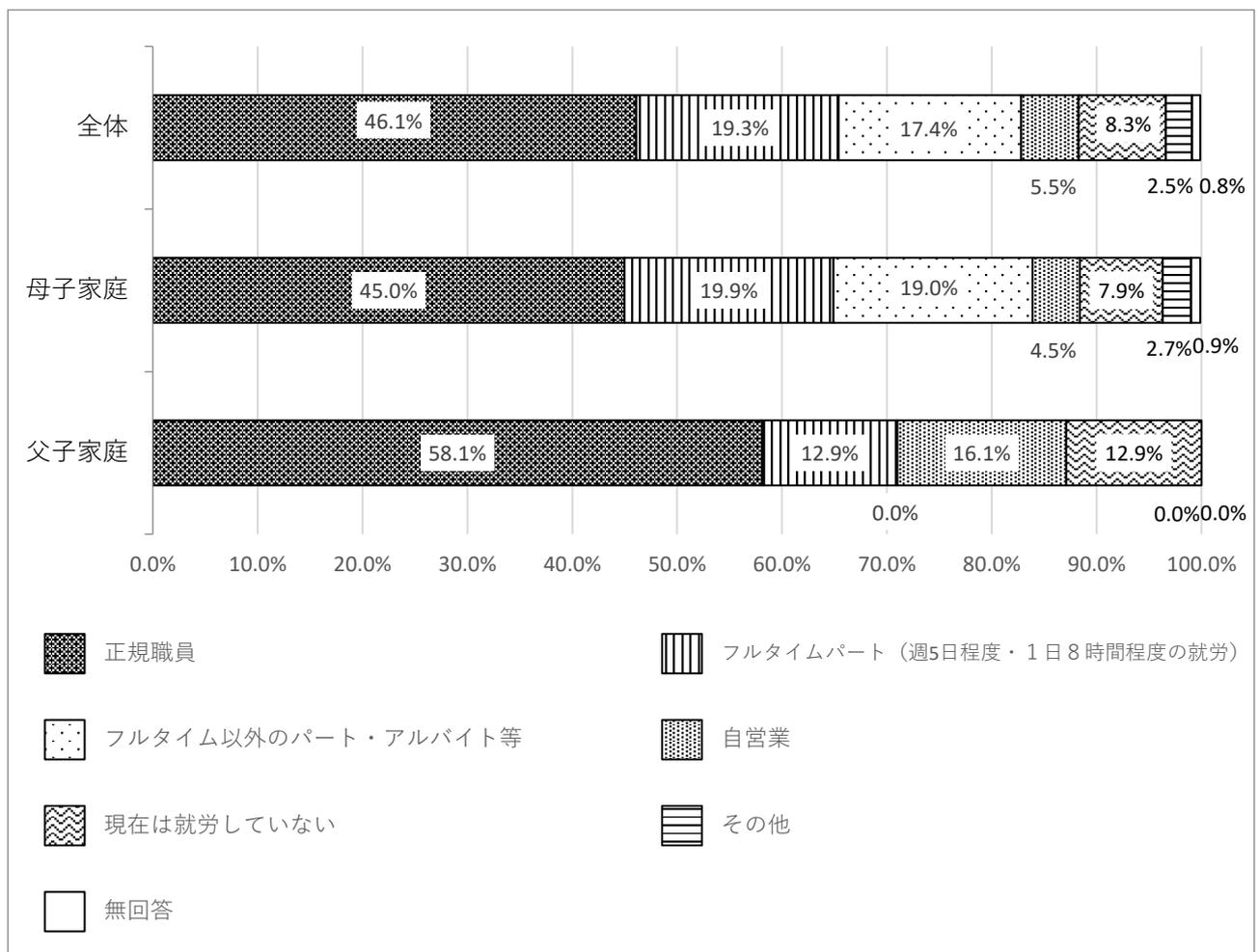
5. 就労について

(1) 就労状況

問 22 就労状況について（あてはまる番号 1 つに○）

就労状況を質問したところ、母子家庭では、「正規職員」が45.0%、「フルタイムパート（週5日程度、1日8時間程度の就労）」が19.9%、「フルタイム以外のパート・アルバイト等」が19.0%、自営業が4.5%、「現在は就労していない」が7.9%となった。父子家庭では、「正規職員」が58.1%、「フルタイムパート（週5日程度、1日8時間程度の就労）」が12.9%、「フルタイム以外のパート・アルバイト等」が0.0%、自営業が16.1%、「現在は就労していない」が12.9%となった。（図表5-1-1）

図表5-1-1 就労状況

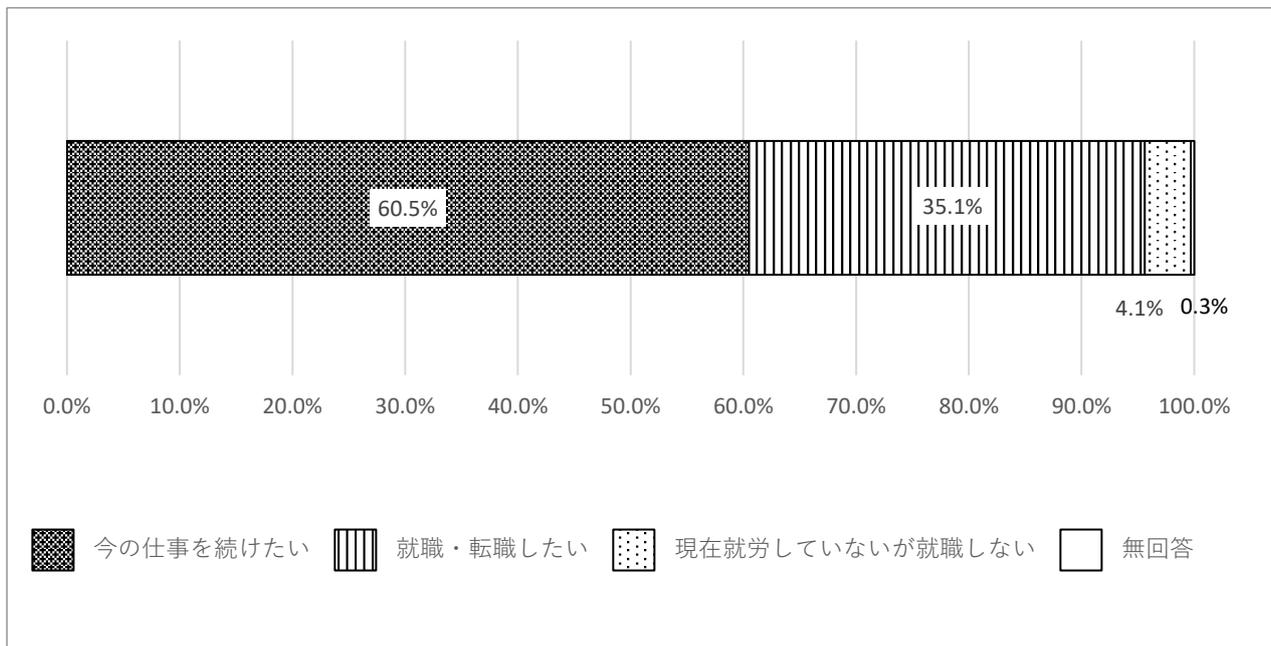


(2) 就職・転職希望

問 23 就職・転職希望について（あてはまる番号 1 つに○）

就職・転職希望を質問したところ、「今の仕事を続けたい」が60.5%、「就職・転職したい」が35.1%、「現在就労していないが就職しない」が4.1%となった。（図表 5-2-1）

図表 5-2-1 就職・転職希望

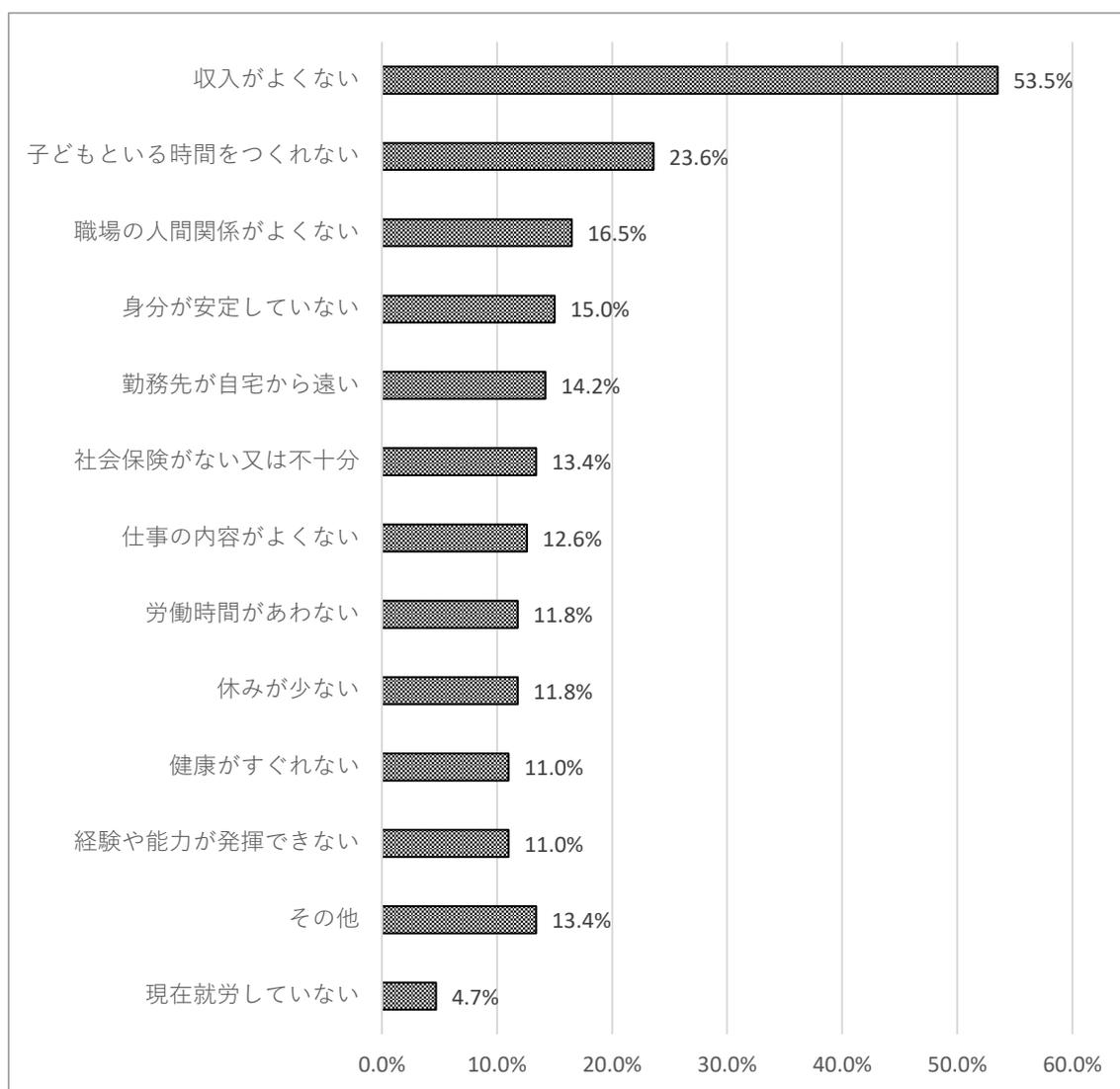


(3) 就職・転職希望理由

問 24 就職・転職希望の理由について（あてはまる番号すべてに○）

就職・転職希望の理由を質問したところ、「収入が良くない」が53.5%で最も高く、次いで「子どもといる時間を作れない」(23.6%)、職場の人間関係が良くない(16.5%)の順となった。(図表5-3-1)

図表5-3-1 就職・転職希望理由

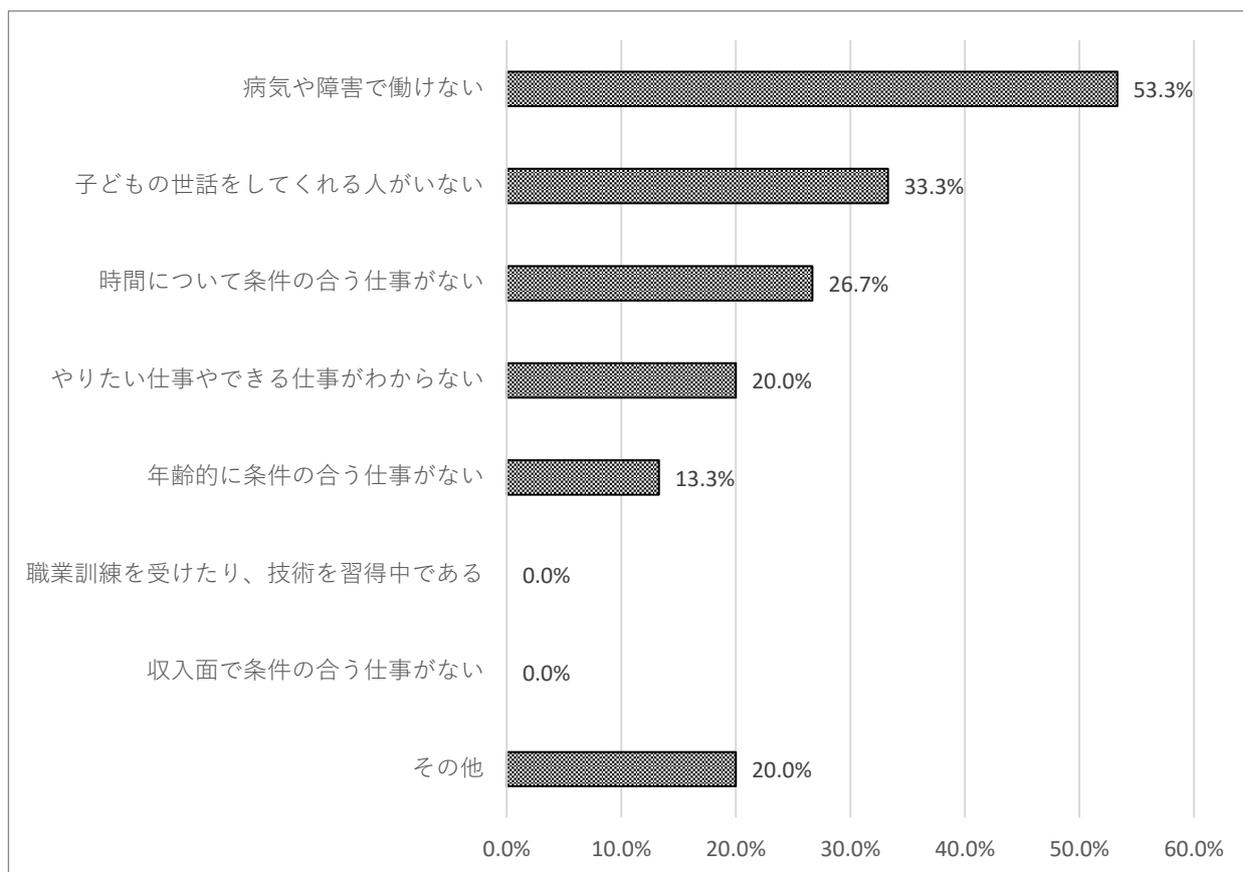


(4) 就職しない理由

問 25 就職しない理由について（あてはまる番号すべてに○）

就職しない理由については、回答対象者数が15人と少ないため、結果を参考に記載する、(図表5-4-1)

図表5-4-1 就職しない理由

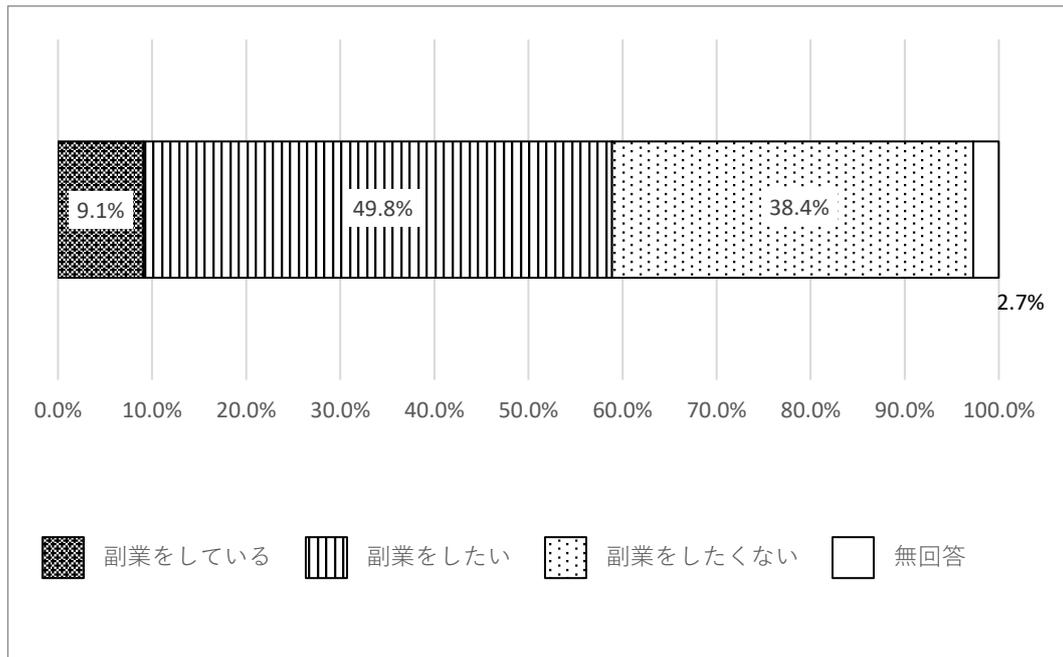


(5) 副業

問 26 副業について（あてはまる番号 1 つに○）

副業について質問したところ、「副業をしている」が9.1%、「副業をしたい」が49.8%、「副業をしたくない」が38.4%となった（図表 5-5-1）

図表 5-5-1 副業



6. 養育費について

(1) 養育費の取決め

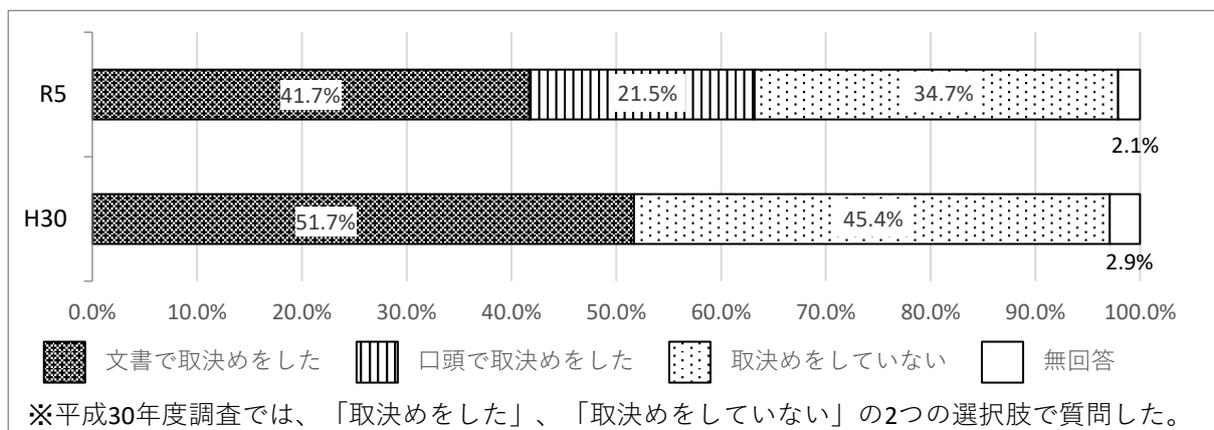
問5で「1. 離婚」または「2. 未婚・非婚」と回答した方のみ

問27 養育費の取決めについて（あてはまる番号1つに○）

養育費の取決めについて質問したところ、「文書で取決めをした」が41.7%、「口頭で取決めをした」が21.5%、「取決めをしていない」が34.7%となった。（図表6-1-1）

平成30年度調査と比較すると「取決めをした」と回答した割合は51.7%から63.2%に増加した。

図表6-1-1 養育費の取決め



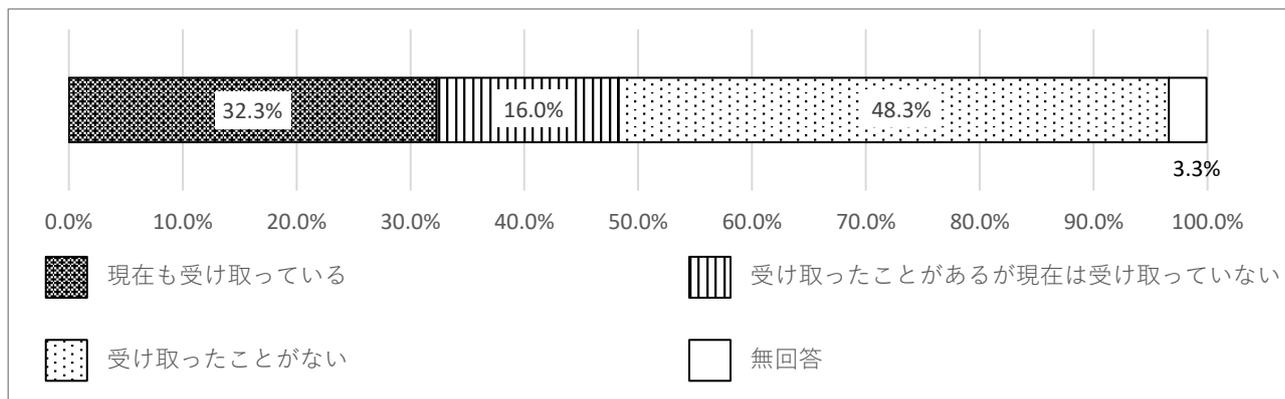
(2) 養育費の受給状況

問28 養育費の受給状況について

(1) 現在の状況について（あてはまる番号1つに○）

養育費の受給状況について質問したところ、「現在も受け取っている」が32.3%、「受け取ったことがあるが現在は受け取っていない」が16.0%、「受け取ったことがない」が48.3%となった。（図表6-2-1）

図表6-2-1 養育費の受給状況



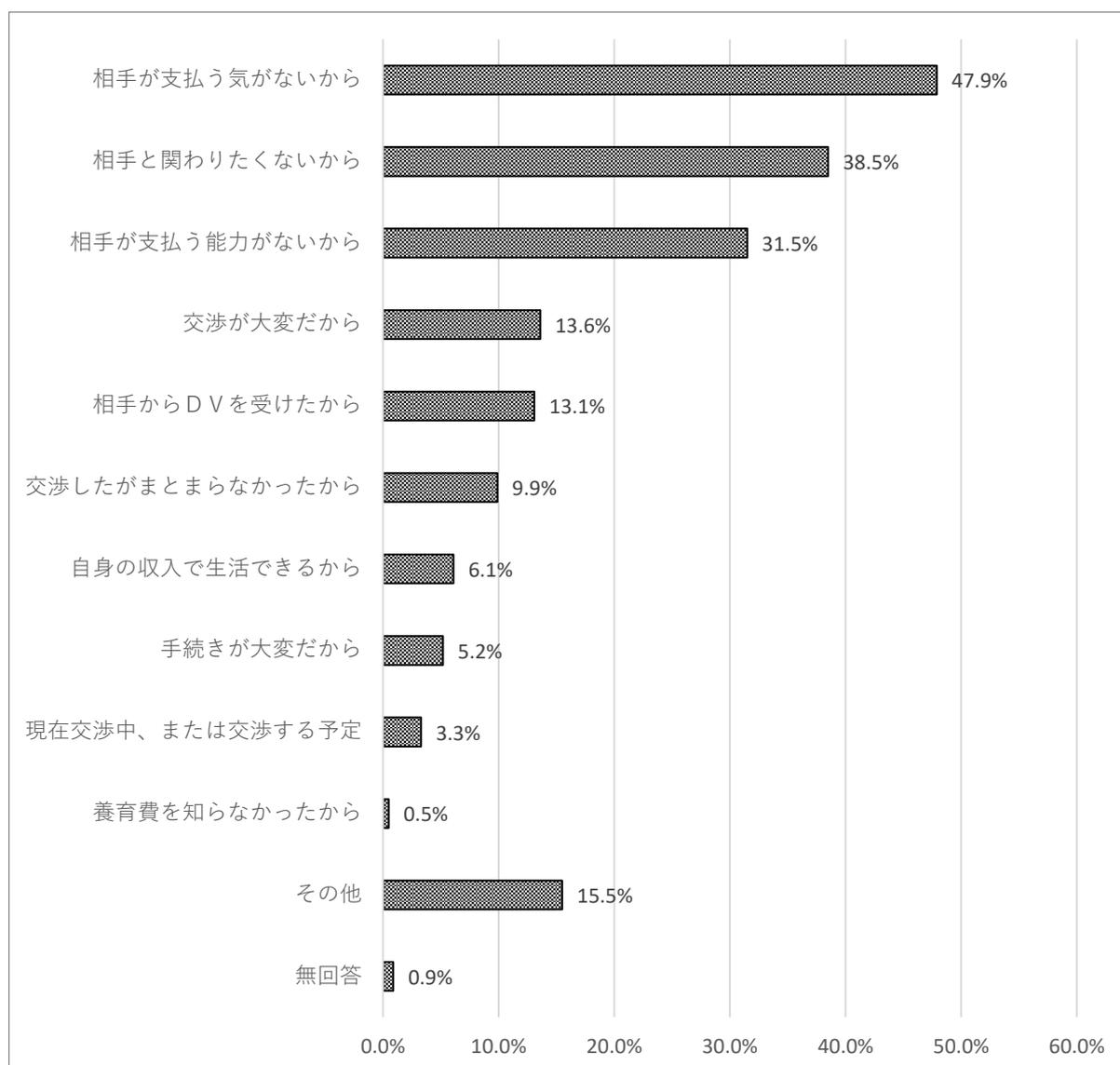
(3) 養育費を受け取っていない理由

問 28 養育費の受給状況について

(2) 受け取っていない理由について（あてはまる番号すべてに○）

養育費を受けていない理由について質問したところ、「相手が支払う気がないから」が47.9%で最も高く、次いで「相手と関わりたくないから」（38.5%）、「相手が支払う能力がないから」（31.5%）の順となった。（図表6-3-1）

図表6-3-1 養育費を受け取っていない理由

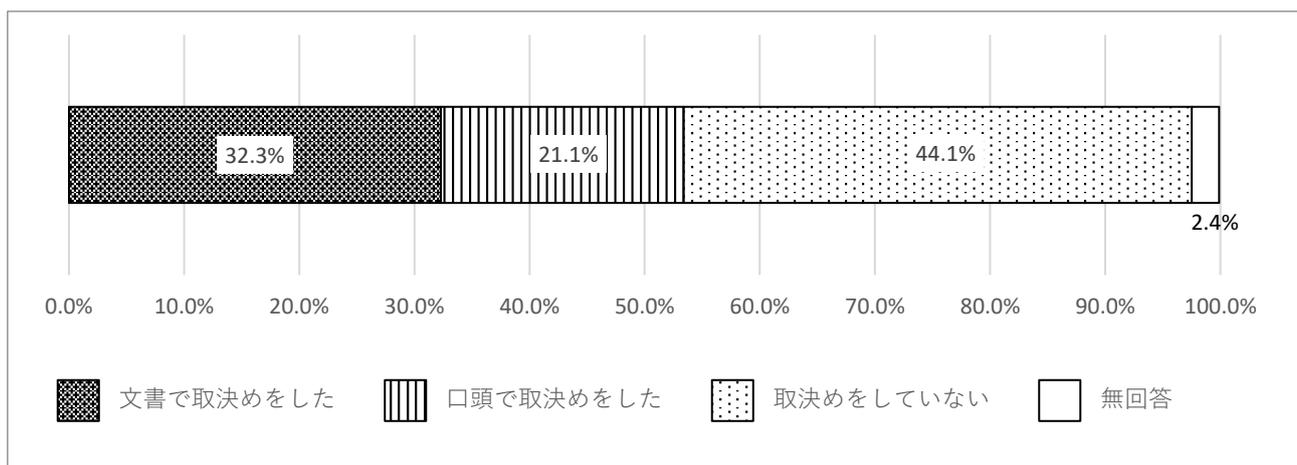


(4) 親子交流（面会交流）の取決め

親子交流（面会交流）の取決めについて（あてはまる番号1つに○）

親子交流（面会交流）の取決めについて質問したところ、「文書で取決めをした」が32.3%、「口頭で取決めをした」が21.1%、「取決めをしていない」が44.1%となった。（図表6-4-1）

図表6-4-1 親子交流（面会交流）の取決め

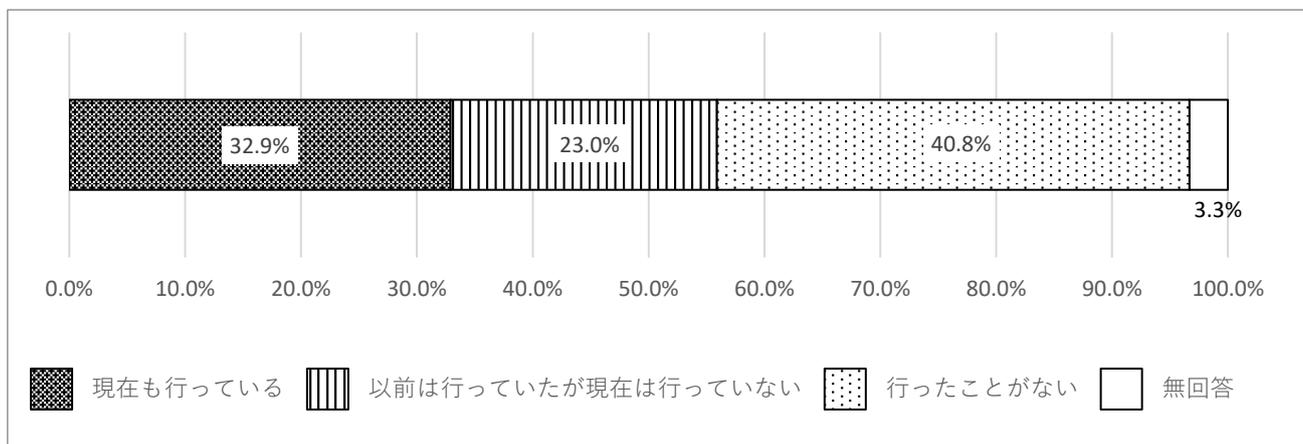


(5) 親子交流（面会交流）の有無

問30 親子交流（面会交流）の有無について（あてはまる番号1つに○）

親子交流（面会交流）の有無を質問したところ、「現在も行っている」が32.9%、「以前は行っていたが現在は行っていない」が23.0%、「行ったことがない」が40.8%となった。（図表6-4-1）

図表6-4-1 親子交流（面会交流）の有無



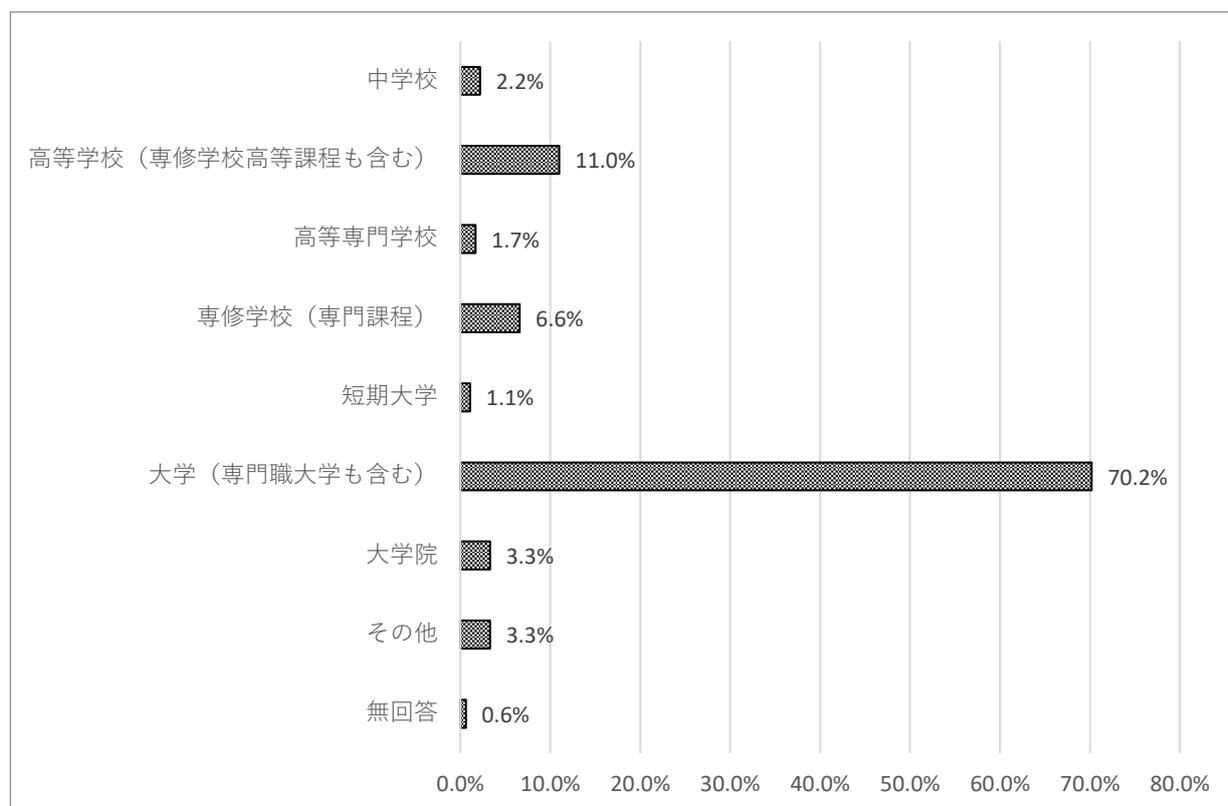
7. 子どものことについて

(1) 子どもの最終進学目標

問31 お子さんの最終進学目標について（あてはまる番号1つに○）

子どもの最終進学目標を質問したところ、「大学（専門職大学も含む）」が70.2%で最も高く、次いで、「高等学校（専修学校高等課程も含む）」（11.0%）、「専修学校（専門課程）」（6.6%）の順となった。（図表7-1-1）

図表7-1-1 子どもの最終進学目標

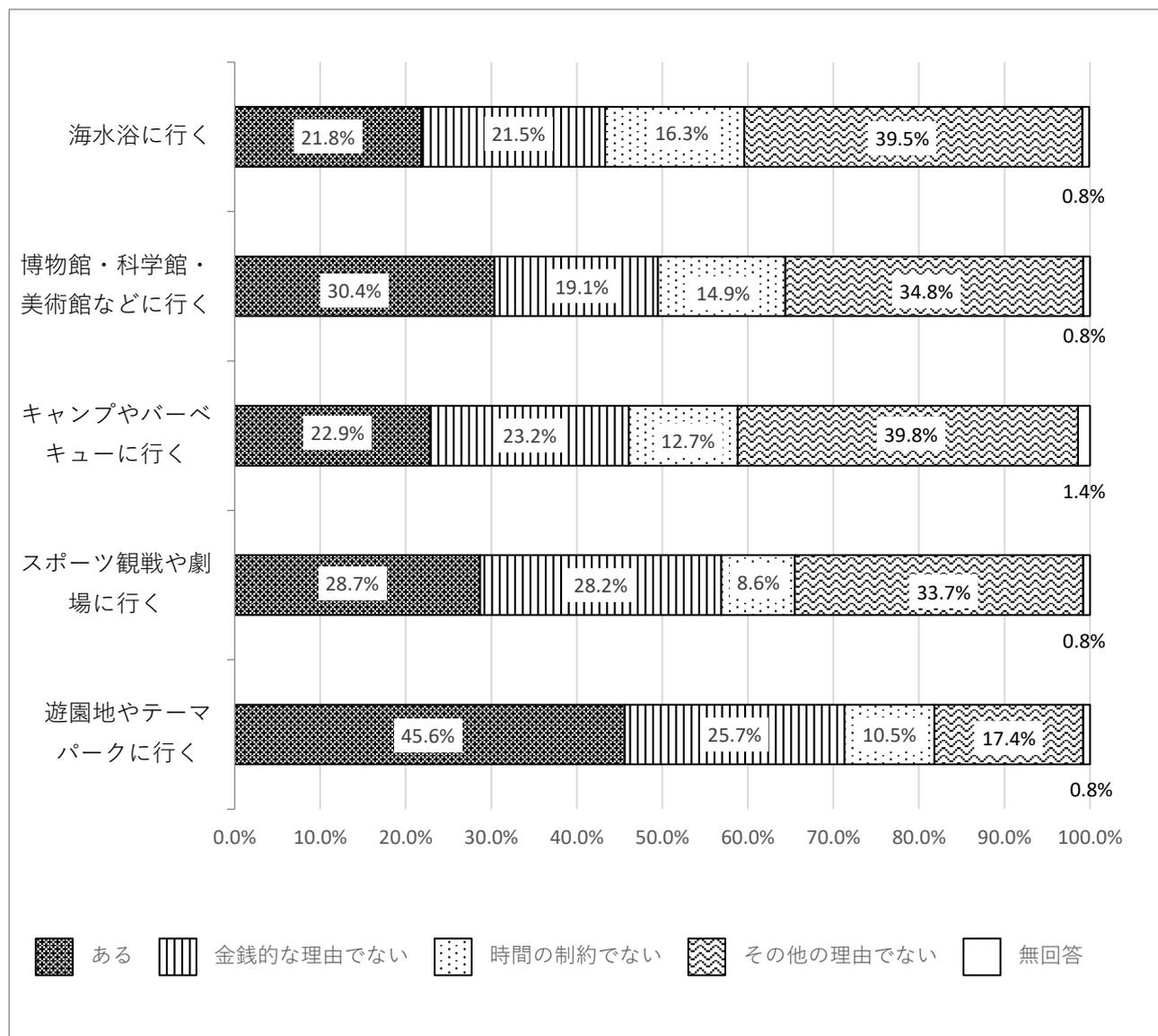


(2) 子どもの体験

問 32 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか
(それぞれあてはまる番号1つに○)

子どもの体験について質問したところ、結果は以下のとおりとなった。(図表7-2-1)

図表7-2-1 子どもの体験

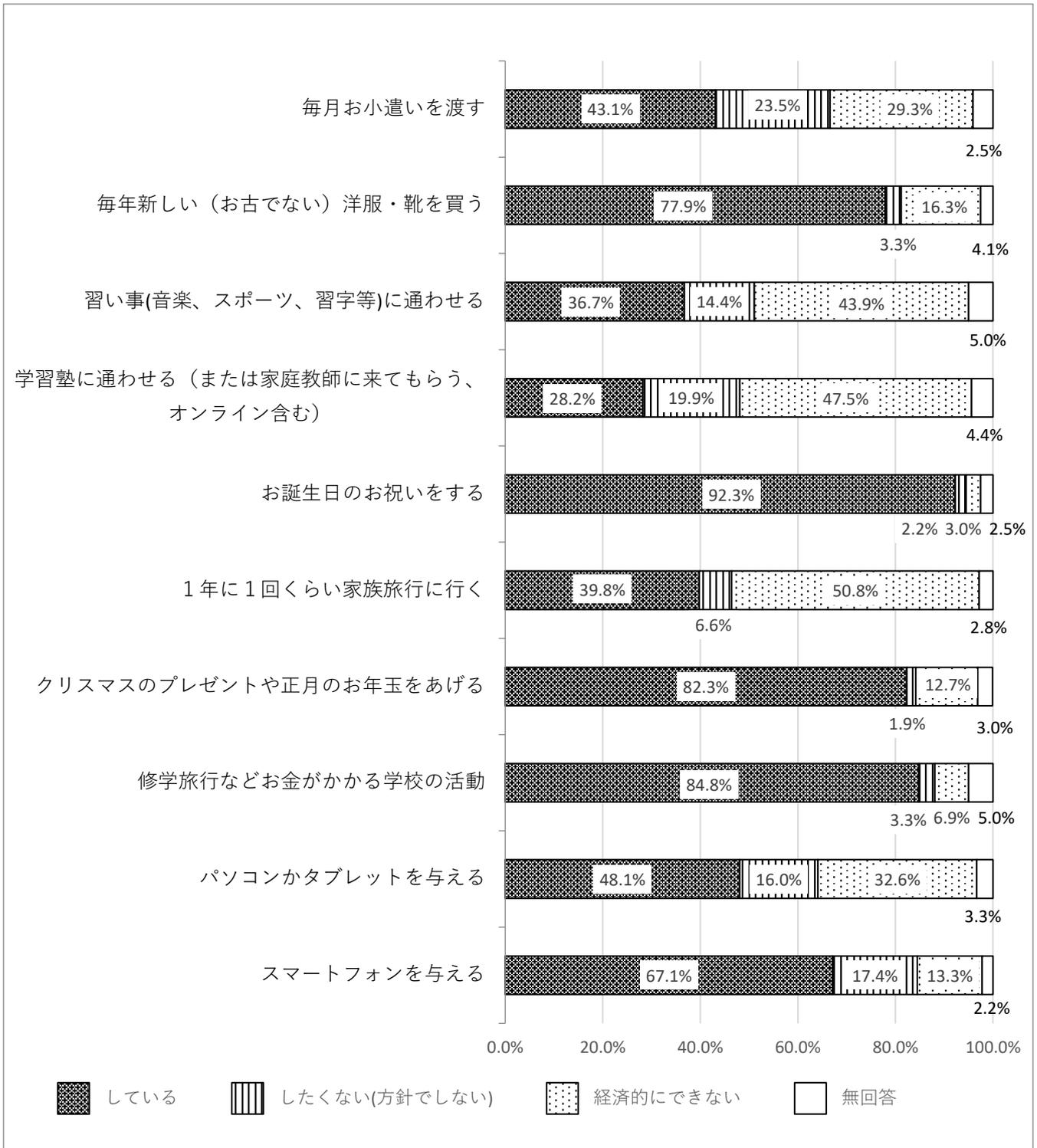


(3) 子どもに与えているもの

問 33 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか（それぞれあてはまる番号1つに○）

子どもに与えているものを質問したところ、結果は以下のとおりとなった。（図表7-3-1）

図表7-3-1 子どもに与えているもの

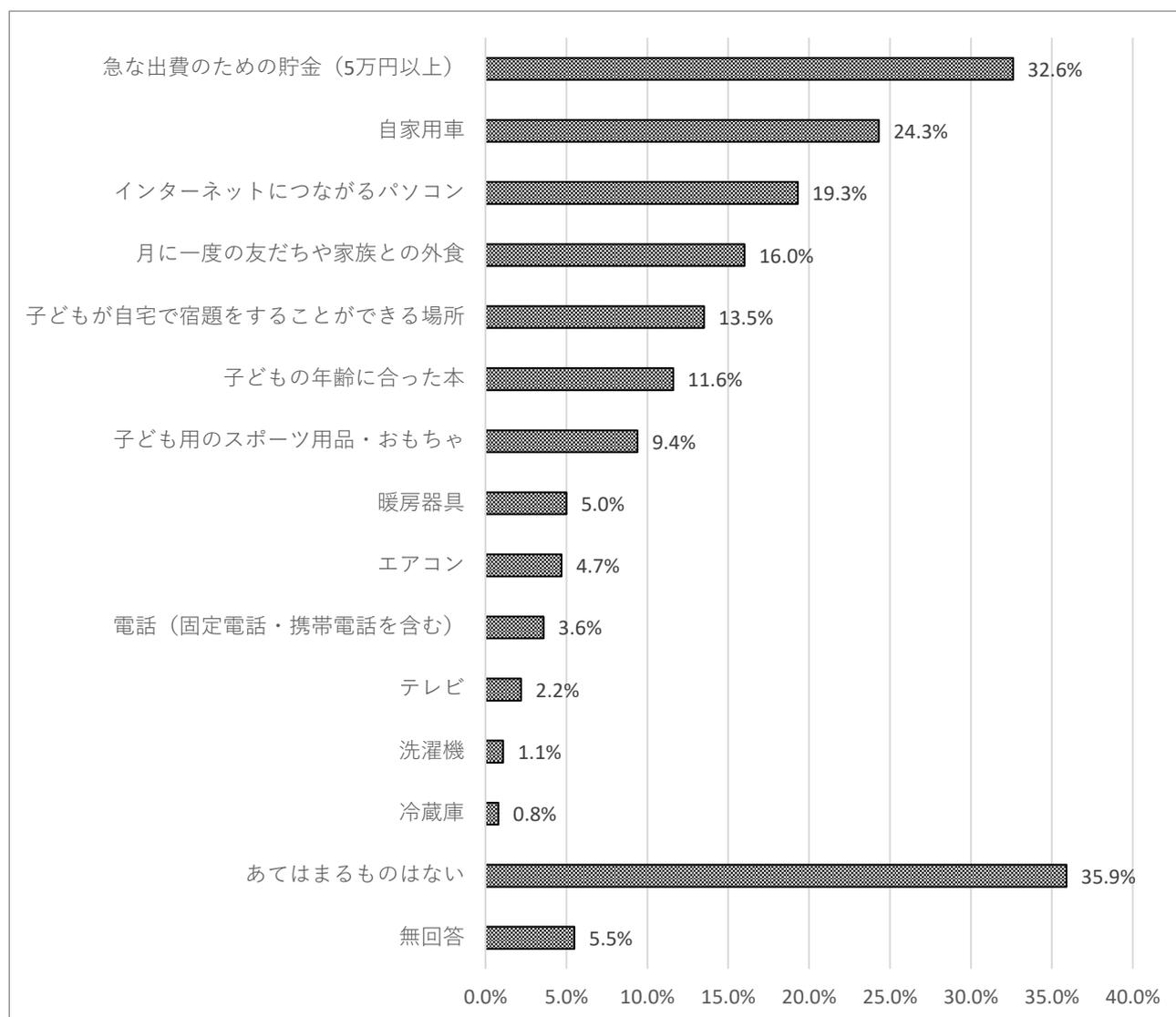


(4) 経済的理由でないもの

問 34 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものがありますか（あてはまる番号すべてに○）

経済的理由でないもの質問したところ、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が32.6%で最も高く、次いで「自家用車」（24.3%）、「インターネットにつながるパソコン」（19.3%）の順となった。（図表7-4-1）

図表7-4-1 子どもに与えているもの



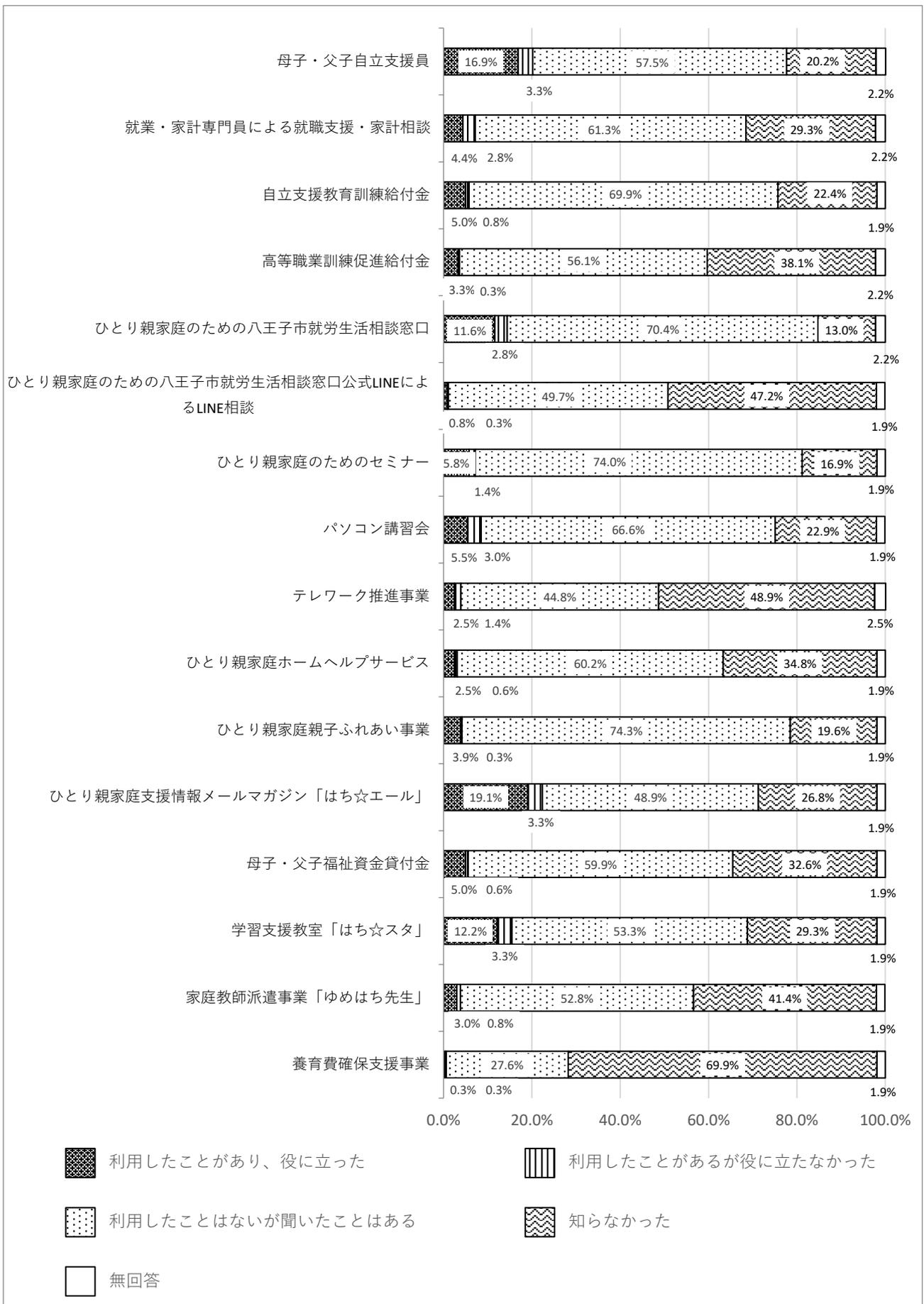
8. 支援制度について

(1) 支援制度の認知・利用状況

| |
|--|
| 問 35 支援制度の認知・利用状況について（それぞれあてはまる番号1つに○） |
|--|

支援制度の認知・利用状況を質問したところ、「利用したことがあり、役に立った」が最も多かったのは「ひとり親家庭支援情報メールマガジン「はち☆エール」」（19.1%）となり、次いで「母子・父子自立支援員」（16.6%）、「学習支援教室「はち☆スタ」」（12.2%）となった。一方で、「知らなかった」が最も多かったのは「養育費確保支援事業」（69.9%）となり、次いで「テレワーク推進事業」（48.9%）、「ひとり親家庭のための八王子市就労生活相談窓口公式LINEによるLINE相談」（47.2%）となった。（図表8-1-1）

図表 8-1-1 支援制度の認知・利用状況

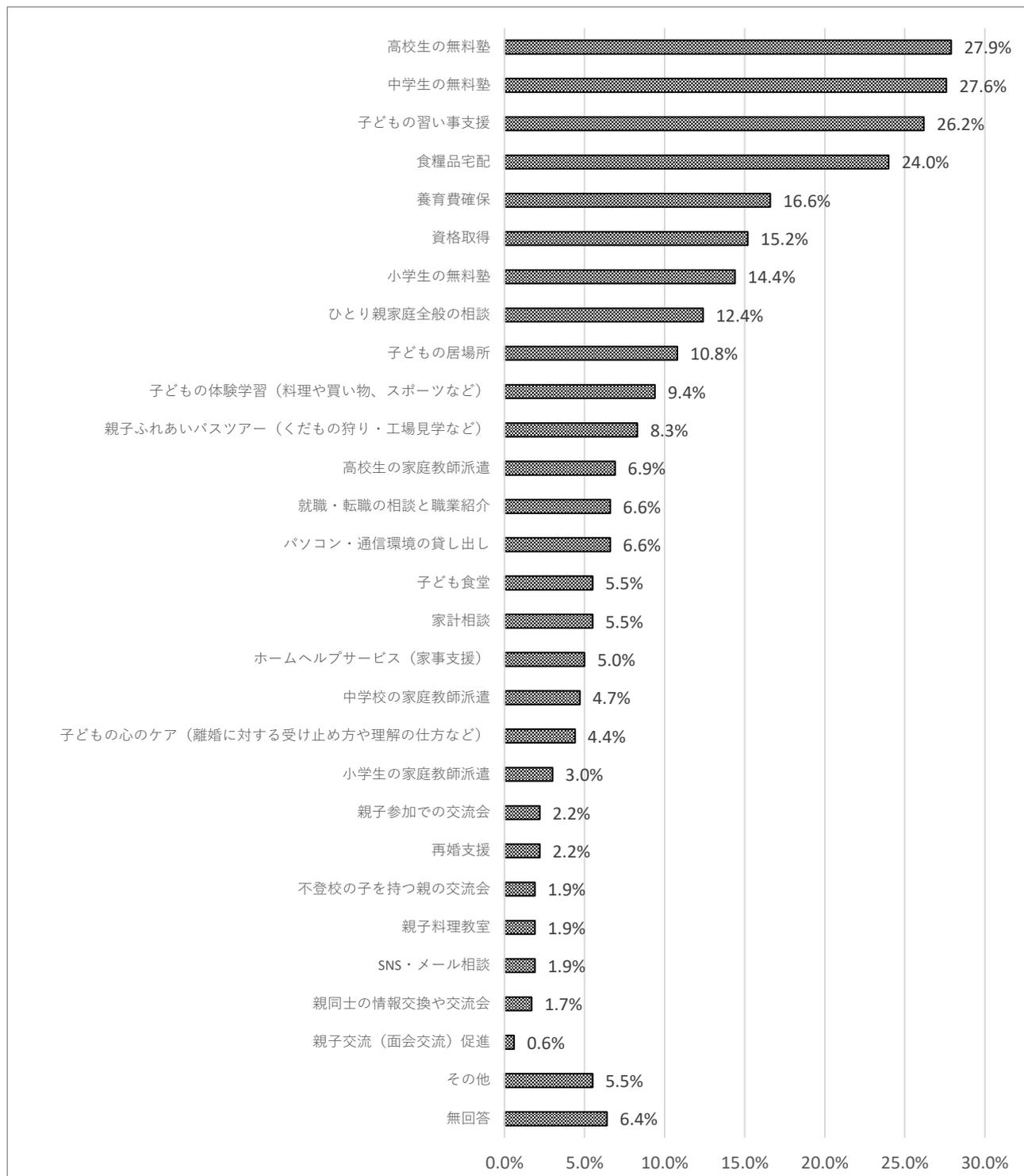


(2) 支援制度の創設・充実希望

問 37 各種支援制度の創設・充実希望について（希望の上位3つに○）

支援制度の創設・充実希望を質問した結果、「高校生の無料塾」が27.9%で最も高く、次いで「中学生無料塾」(27.6%)、「子どもの習い事支援」(26.2%)の順となった。(図表8-2-1)

図表8-2-1 支援制度の認知・利用状況



(3) 子どものいいところや子育てで嬉しかったこと（自由記述）

問 38 お子さんの良いところや子育てで嬉しかったことについて（自由記述）

子どものいいところや子育てでうれしかったことについて179件の回答があった。回答の一部を原則原文のまま記載した。

- ・ひとり親だから子供が手伝ってくれるのが1番うれしい2人で、でかけるとさもいつもニコニコしていることをきいてくれる、ケガばかりするがそのあとちゃんと反省する
- ・嬉しいことも、残念なことも、ムカついたことも、まだ一番最初に報告される存在でいられることが嬉しい。子どもが安心して育っていける様これからもサポートしてあげたい。
- ・やさしくてひょうきんで、絵が上手で、本当にいい子です。毎日、一緒に居られることに幸せを感じています。
- ・母子家庭で経済的な面で心配をかけてしまうことはあるが、「塾に行きたい」「ピアノを習いたい」等、意欲的に学ぶ気持ちがあることは嬉しかった。二人とも優しい子であり、困っている人がいると自ら声をかけている姿に、逞しさを感じた。
- ・成人式を先日むかえた子が苦勞かけてきたのに大事に育ててくれてありがとう、とプチマッサージ機をくれた。
- ・自分なりに自立することを考え出したようで、やらなければならない事の選定をそれなりに実施できるようになった点は、社会に出てからの個人の長所と思える。
- ・一人親で大変な事も多々ありますが、3人とも毎日学校へ行き、それぞれ楽しんで生活している事が良かったと思っています。金銭的な事で色々な事をガマンさせてしまっていますがその事を子どもなりに理解してくれている事は、子ども達の良さだと思っています。
- ・「お母さん大好き」「お母さんお仕事がんばってね」など言ってくれた時。保育園でのイベントで子供の成長を見ることができた時
- ・子供が家の家事手伝いをしてくれた事、大学までアルバイトをしながらいくと言ってくれた事が嬉しかった。お金はないが、子供達と今まで生活してこれた事が一番嬉しかった。
- ・子供の遊びを地域の方達が見守ってくれてることがとてもありがたい。地域の友達との交流もあり子供は色々な事を学んできてくれる。(ちょっとしたまめちしきなど)
- ・日々、色々な場面で手伝いや助けてくれて頼もしく感じうれしく思います。息子には、なるべく不自由のないように心がけていますが、空気を読ませてしまっているように感じる時もあります。うれしくもあり、悲しくもあります。
- ・私が高熱を出したとき、別居している間も含めて、子どもがご飯を作ってくれたり洗濯物をしてくれて、とても助かったし、とても優しい子に育てることが嬉しかったです。いつもは、たまにのお手伝いでも積み重なって出来てるようになったことに驚きました。

(4) 生活の不安や要望など（自由記述）

問 39 生活の不安や要望など（自由記述）

生活の不安や要望について212件の回答があった。回答の一部を原則原文のまま記載した。

- ・ひとり親だけでなく、大学や専門学校など高校卒業後もお金がかかるので、在学中は金銭的な支援があると助かります。国立、私立大学共に学費無料にしてほしいです。
- ・児童育成手当や児童扶養手当の所得制度をなくしてほしい。すべてのひとり親に給付してほしい。
- ・仕事の残業が多く、子どもの夕食の時間が遅くなってしまふ。それに伴って就寝時間も遅くなってしまっている。授業中居眠りすることもある。成長に悪影響を与えているので心配。仕事を変えようと思っているが、なかなか辞められないし、他に見つかるか不安。
- ・家計でひとりで支えなければいけないというプレッシャーがある。でも自身でFP（ファイナンシャルプランナー）の勉強したことによって気持ちが軽くなった。
- ・収入がそこそこある父子家庭は、手当て等の面で非常に不公平に感じる。母子家庭の支援は手厚いが、それと比べて差がありすぎる。自力で稼いでいる父子家庭だって様々な犠牲を伴っている事を考慮して欲しい。
- ・死別を周りに言えていないので、支援を求めにくい。もうすぐ2年、体力に限界を感じているが、職場や親族にも死別のつらさを心から理解してもらえないし、傷つくので言いたくない。離別の方と一緒に思われるのは正直つらい。離別の方がまわりに言っているのか、「JR割引」「水道無料」なのでしょう？」と聞かれたこともあるが、私はそんなことより、夫にいてほしかった。全てが違うと感じることもある。そもそも若年死別に対しての政策が少ないと思う。せめて、ゴミ袋は同じ扱いにしてほしい。先を生きていこうと思えなかったが、最近では4人を育てるのに経済的にも体力的にもこの先が常に不安。市の支援は全ての支援が“離別”なので、そもそも参加しにくいです。

Ⅲ 使用した調査票

八王子市 子育てに関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

皆様には日ごろより市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。
さて、本市では令和2年(2020年)3月に策定した「ビジョン すくすく てくてく はちおうじ」(子ども・若者育成支援計画)に基づき、子育て支援のための様々な施策を実施しております。令和6年度(2024年度)に現行計画が終了することから、計画を見直すにあたり、市民の皆様の子育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するため、「八王子市子育てに関するアンケート調査」を実施することになりました。

この調査は、令和5年(2023年)10月1日時点の児童育成手当を受給しているひとり親世帯1,200世帯を無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、機械的に処理しますので、回答者個人が特定されることはありません。

つきましては、お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和5年(2023年)12月 八王子市長 石森 孝志

【記入にあたってのお願い】

- 1 回答は、令和5年(2023年)12月1日現在でご記入ください。
- 2 回答は、黒か青のボールペン、鉛筆等で濃くはっきりとご記入ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 数字(年齢や時間帯等)をおうかがいする質問では、枠内に数字をご記入ください。
- 5 記入された調査票は、令和6年(2024年)1月15日(月)までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

◎お問い合わせ

八王子市 子ども家庭部 子どものしあわせ課

電話：042-620-7391(月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分)

メール：b470100@city.hachioji.tokyo.jp FAX：042-627-7776

調 査 票

問1 母子家庭・父子家庭の別について (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 母子家庭 | 2. 父子家庭 | 3. その他 () |
|---------|---------|------------|

問2 回答している方の年代について (あてはまる番号1つに○)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 | 5. 50代以上 |
|--------|--------|--------|--------|----------|

問3 回答している方の最終学歴について (あてはまる番号1つに○)

| | | | | | | | |
|--------------------|-----------------------|-----------|----------------|---------|------------------|--------|------------|
| 1. 中学校 (高等学校中退も含む) | 2. 高等学校 (専修学校高等課程も含む) | 3. 高等専門学校 | 4. 専修学校 (専門課程) | 5. 短期大学 | 6. 大学 (専門職大学も含む) | 7. 大学院 | 8. その他 () |
|--------------------|-----------------------|-----------|----------------|---------|------------------|--------|------------|

問4 同居しているお子さんの人数について (□に数字を記入) ※令和5年12月1日現在で20歳未満の者・複数人回答

| | | | | | |
|----------|-------|------------|-------|------------|-------|
| 1. 就学前児童 | → □ 人 | 2. 小学1～3年生 | → □ 人 | 3. 小学4～6年生 | → □ 人 |
| 4. 中学生 | → □ 人 | 5. 高校生 | → □ 人 | 6. その他 | → □ 人 |

問5 ひとり親家庭となった理由について (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|-------|----------|-------|------------|
| 1. 離婚 | 2. 未婚・非婚 | 3. 死別 | 4. その他 () |
|-------|----------|-------|------------|

問6 ひとり親家庭になってからの期間について (あてはまる番号1つに○)

| | |
|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年以上7年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 5. 7年以上 |
| 3. 3年以上5年未満 | |

問7 住居について

(1) 住居の種類について (あてはまる番号1つに○)

| | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 自身の持ち家・持ちマンション (ローン有り) | 6. 郡営住宅・市営住宅 |
| 2. 自身の持ち家・持ちマンション (ローン無し) | 7. 公社・公団・UR |
| 3. 元配偶者の持ち家・持ちマンション | 8. 社宅・会社の寮 |
| 4. 元配偶者以外の親族の持ち家・持ちマンション | 9. その他 () |
| 5. 借家・賃貸アパート・賃貸マンション | |

(2) 間取りについて (あてはまる番号1つに○)

| | |
|----------------|----------------|
| 1. ワンルーム | 4. 2LDK・3K・3DK |
| 2. 1K・1DK | 5. 3LDK・4K・4DK |
| 3. 1LDK・2K・2DK | 6. それ以上 |

問8 安心して子育てができていると感じていますか (あてはまる番号1つに○)

| | |
|------------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 3. どちらかといえばそう感じない |
| 2. どちらかといえばそう感じる | 4. そう感じない |

問9 地域の人が子育てを支えてくれていると感じていますか (あてはまる番号1つに○)

| | |
|------------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 3. どちらかといえばそう感じない |
| 2. どちらかといえばそう感じる | 4. そう感じない |

問10 日ごろ子どもをみてもえらる親族・知人はいますか (あてはまる番号1つに○)

| |
|---|
| 1. 日常的にみてもえらる親族・知人がいる 2. 緊急時もしくは用事の際のみでもえらる親族・知人がいる 3. みてもえらる親族・知人はいない 4. 親族・知人に頼むようなことがないため、わからない 5. その他 () |
|---|

問11 現在一番困っていることと、ひとり親になったときに一番困ったことについて

(1) 現在一番困っていること (あてはまる番号1つに○)

| | |
|------------|-----------------|
| 1. 住居について | 6. 自分の健康について |
| 2. 仕事について | 7. 親族の健康・介護について |
| 3. 家計について | 8. その他 () |
| 4. 家事について | 9. 特にない |
| 5. 子どもについて | |

(2) ひとり親になったときに一番困ったこと (あてはまる番号1つに○)

| | |
|------------|-----------------|
| 1. 住居について | 6. 自分の健康について |
| 2. 仕事について | 7. 親族の健康・介護について |
| 3. 家計について | 8. その他 () |
| 4. 家事について | 9. 特にない |
| 5. 子どもについて | |

問8 問7で回答いただいた、**公的年金と社会保険給付金以外の収入**についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方、およびその年間収入（税込）はいくらですか。（○は1つ）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、問7で回答いただいた、**公的年金と社会保険給付金**は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合（親が勤労収入、母親に事業収入など）は、およびその合算値（合計額）を教えてください。

| | | |
|---------------|----------------|------------------|
| 1 収入はなし（0円） | 6 300～400万円未満 | 11 800～900万円未満 |
| 2 1～50万円未満 | 7 400～500万円未満 | 12 900～1000万円未満 |
| 3 50～100万円未満 | 8 500～600万円未満 | 13 1000～1500万円未満 |
| 4 100～200万円未満 | 9 600～700万円未満 | 14 1500～2000万円未満 |
| 5 200～300万円未満 | 10 700～800万円未満 | 15 わからない |

問9 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする**食料**を買えないことがありましたか。（○は1つ）

| | | | |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問10 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする**衣類**を買えないことがありましたか。（○は1つ）

| | | | |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問11 世帯の家計について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

| | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 赤字であり、日々の生活のために借金をしている | 4. 赤字であるが、貯蓄はしていない |
| 2. 赤字であり、貯金を取り崩している | 5. 赤字であり、毎月貯蓄している |
| 3. 赤字でも黒字でもない | 6. その他（ ） |

問12 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Hのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ○は1つ）

| | あった | なかった | 該当しない (払う必要がない) |
|------------|-----|------|--------------------|
| A 電話料金 | → 1 | 2 | 3 |
| B 電気料金 | → 1 | 2 | 3 |
| C ガス料金 | → 1 | 2 | 3 |
| D 水道料金 | → 1 | 2 | 3 |
| E 家賃 | → 1 | 2 | 3 |
| F 住宅ローン | → 1 | 2 | 3 |
| G 税金・社会保険料 | → 1 | 2 | 3 |
| H その他の債務 | → 1 | 2 | 3 |

問15 問14で回答いただいた、**公的年金と社会保険給付金以外の収入**についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方、およびその年間収入（税込）はいくらですか。
（あてはまる番号1つに○）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、問14で回答いただいた、**公的年金と社会保険給付金**は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合（親が勤労収入、事業収入など）は、およびその合算値（合計額）を教えてください。

| | | |
|---------------|----------------|------------------|
| 1 収入はなし（0円） | 6 300～400万円未満 | 11 800～900万円未満 |
| 2 1～50万円未満 | 7 400～500万円未満 | 12 900～1000万円未満 |
| 3 50～100万円未満 | 8 500～600万円未満 | 13 1000～1500万円未満 |
| 4 100～200万円未満 | 9 600～700万円未満 | 14 1500～2000万円未満 |
| 5 200～300万円未満 | 10 700～800万円未満 | 15 わからない |

問16 回答している方の収入と資産について

(1) 収入の種類について（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|-----------------|--------------|
| 1. 就労収入（給与・事業等） | 6. 家賃・地代の収入等 |
| 2. 児童扶養手当等の各種手当 | 7. 生活保護 |
| 3. 養育費 | 8. 貯蓄の取崩し |
| 4. 年金等 | 9. その他（ ） |
| 5. 親族からの仕送り・援助 | |

(2) 年間稼働収入（就労収入）について（あてはまる番号1つに○）

| | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 100万円未満 | 5. 400万円以上600万円未満 |
| 2. 100万円以上200万円未満 | 6. 600万円以上800万円未満 |
| 3. 200万円以上300万円未満 | 7. 800万円以上 |
| 4. 300万円以上400万円未満 | |

(3) 預貯金額（財形貯蓄、株式・債券等を含む）について（あてはまる番号1つに○）

| | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ない | 5. 200万円以上300万円未満 |
| 2. 1円以上50万円未満 | 6. 300万円以上400万円未満 |
| 3. 50万円以上100万円未満 | 7. 400万円以上500万円未満 |
| 4. 100万円以上200万円未満 | 8. 500万円以上 |

問17 車など、交通手段の所有状況について（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|----------------|-----------------|
| 1. 自転車 | 6. 軽自動車（ローン無し） |
| 2. 電動自転車 | 7. 普通自動車（ローン有り） |
| 3. 原動機付自転車（原付） | 8. 普通自動車（ローン無し） |
| 4. 自動二輪車 | 9. その他（ ） |
| 5. 軽自動車（ローン有り） | |

問 18 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 19 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 20 世帯の家計について、最もあてはまる番号1つに○をつけてください

| | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 赤字であり、日々の生活のために借金をしている | 4. 黒字であるが、貯蓄はしていない |
| 2. 赤字であり、貯金を取り崩している | 5. 黒字であり、毎月貯蓄している |
| 3. 赤字でも黒字でもない | 6. その他 () |

問 21 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Hのサービス・料金について、支払えないことがありましたか (それぞれあてはまる番号1つに○)

| | あった | なかった | 該当しない (払う必要がない) |
|------------|-----|------|--------------------|
| A 電話料金 | → 1 | 2 | 3 |
| B 電気料金 | → 1 | 2 | 3 |
| C ガス料金 | → 1 | 2 | 3 |
| D 水道料金 | → 1 | 2 | 3 |
| E 家賃 | → 1 | 2 | 3 |
| F 住宅ローン | → 1 | 2 | 3 |
| G 税金・社会保険料 | → 1 | 2 | 3 |
| H その他の債務 | → 1 | 2 | 3 |

問 22 就労状況について (あてはまる番号1つに○)

| | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 正規職員 | 4. 自営業 |
| 2. フルタイムパート (週5日程度・1日8時間程度の就労) | 5. 現在は就労していない |
| 3. フルタイム以外のパート・アルバイト等 | 6. その他 () |

問 23 就職・転職希望について (あてはまる番号1つに○)

| | |
|--------------------|--------|
| 1. 今の仕事を続けたい | → 26 へ |
| 2. 就職・転職したい | → 24 へ |
| 3. 現在就労していないが就労しない | → 25 へ |

問 24 就職・転職希望の理由について (あてはまる番号すべてに○)

| | |
|------------------|------------------|
| 1. 収入がよくない | 8. 社会保険がない又は不十分 |
| 2. 勤務先が自宅から遠い | 9. 休みが少ない |
| 3. 健康がすぐれない | 10. 身分が安定していない |
| 4. 仕事の内容がよくない | 11. 経験や能力が発揮できない |
| 5. 職場の人間関係がよくない | 12. その他 () |
| 6. 労働時間があわない | 13. 現在就労していない |
| 7. 子どもといる時間をつくれぬ | |

問 25 就職しない理由について (あてはまる番号すべてに○)

| | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 子どもの世話をしてくれる人がいない | 5. 時間について条件の場合の仕事がない |
| 2. 病氣や障害で働けない | 6. 年齢的に条件の場合の仕事がない |
| 3. 職業訓練を受けたり、技術を習得中である | 7. やりたい仕事やできる仕事が見つからない |
| 4. 収入面で条件の場合の仕事がない | 8. その他 () |

問 26 副業について (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 副業をしている | 2. 副業をしたい | 3. 副業をしたくない |
|------------|-----------|-------------|

問 27 養育費の取決めについて (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. 文書で取り決めた | 2. 口頭で取り決めた | 3. 取り決めのしていない |
|-------------|-------------|---------------|

問 28 養育費の受給状況について

(1) 現在の状況について (あてはまる番号1つに○)

| | |
|---------------------------|---------|
| 1. 現在も受け取っている | → 29 へ |
| 2. 受け取ったことがあるが現在は受け取っていない | → (2) へ |
| 3. 受け取ったことがない | → (2) へ |

(2) 受け取っていない理由について (あてはまる番号すべてに○)

| | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自身の収入で生活できるから | 7. 交渉したがまとまらなかったから |
| 2. 交渉が大変だから | 8. 現在交渉中、または交渉する予定 |
| 3. 手続が大変だから | 9. 相手からDVを受けただから |
| 4. 相手が支払う気がないから | 10. 相手と関わりたくないから |
| 5. 相手が支払う能力がないから | 11. その他 () |
| 6. 養育費を知らなかったから | |

問29 親子交流（面会交流）の取決めについて（あてはまる番号1つに○）

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 文書で取決めをした | 2. 口頭で取決めをした | 3. 取決めをしていない |
|--------------|--------------|--------------|

問30 親子交流（面会交流）の有無について（あてはまる番号1つに○）

| | | |
|-------------|-----------------------|-------------|
| 1. 現在も行っている | 2. 以前は行っていたが現在は行っていない | 3. 行ったことがない |
|-------------|-----------------------|-------------|

すべての方にかがいます

問31 お子さんの最終進学目標について（あてはまる番号1つに○）

| | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 中学校 | 5. 短期大学 |
| 2. 高等学校（専修学校高等課程も含む） | 6. 大学（専門職大学も含む） |
| 3. 高等専門学校 | 7. 大学院 |
| 4. 専修学校（専門課程） | 8. その他（ ） |

問32 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか（それぞれあてはまる番号1つに○）

| | あ る | な い | | |
|--------------------|--------|-------------|------------|-------------|
| | | 金銭的な 理由で | 時間の 制約で | その他の 理由で |
| A 海水浴に行く | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 博物館・科学館・美術館などに行く | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| C キャンプやバーベキューに行く | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| D スポーツ観戦や劇場に行く | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| E 遊園地やテーマパークに行く | → 1 | 2 | 3 | 4 |

問33 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか（それぞれあてはまる番号1つに○）

| | し て い る | し て い な い | |
|-----------------------------------|------------------|-----------------------|--------------|
| | | したくない （方針ではない） | 経済的に できない |
| A 毎月お小遣いを渡す | → 1 | 2 | 3 |
| B 毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う | → 1 | 2 | 3 |
| C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる | → 1 | 2 | 3 |
| D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む） | → 1 | 2 | 3 |
| E お誕生日のお祝いをする | → 1 | 2 | 3 |
| F 1年に1回くらい家族旅行に行く | → 1 | 2 | 3 |
| G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる | → 1 | 2 | 3 |
| H 修学旅行などお金がかかると学校で活動 | → 1 | 2 | 3 |
| I パソコンがタブレットを与える | → 1 | 2 | 3 |
| J スマートフォンを与える | → 1 | 2 | 3 |

問34 次のものうち、経済的理由のためにあなたに世帯にないものはありませんか（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 子どもの年齢に合った本 | 8 月に一度の反だちや家族との外食 |
| 2 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ | 9 電話（固定電話・携帯電話を含む） |
| 3 子どもが自宅で宿題をすることができるところ | 10 インターネットにつながるパソコン |
| 4 テレビ | 11 冷蔵庫 |
| 5 暖房器具 | 12 洗濯機 |
| 6 自家用車 | 13 急な出費のための貯金（5万円以上） |
| 7 エアコン | 14 あてはまるものはない |

問 35 支援制度の認知・利用状況について（それぞれあてはまる番号1つに○）※各制度の詳しい情報をお知りになりたい方は、八王子市ホームページで、「ひとり親家庭へのサポート」と検索してください。

| | 役利 用した ことが あり、 | 役利 用した ことが あるが | 利 用した ことは ないが | 知 らな かった |
|--|-------------------------|-------------------------|------------------------|----------------|
| (1) 母子・父子自立支援員（子育て支援課にてひとり親家庭の相談を受ける職員）による貸付や種々の相談 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (2) 就業・家計専門員による就職支援・家計相談 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (3) 自立支援教育訓練給付金（教育訓練講座受講費用の最大6割を支給する制度） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (4) 高等職業訓練促進給付金（国家資格を取得するために1年以上通学する際に生活費を支給する制度） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (5) ひとり親家庭のための八王子市就労生活相談窓口 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (6) ひとり親家庭のための八王子市就労生活相談窓口 公式LINEによるLINE相談 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (7) ひとり親家庭のためのセミナー（親子参加型セミナー・オンラインセミナーなど） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (8) パソコン講習会（Word/Excel3日間コースなど） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (9) テレワーク推進事業 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (10) ひとり親家庭ホームヘルプサービス（家事・育児が困難な家庭にホームヘルパーを派遣する制度） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (11) ひとり親家庭親子ふれあい事業（取組体験やバスツアーなど） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (12) ひとり親家庭支援情報メールマガジン「はち☆エール」 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (13) 母子・父子福祉資金貸付金 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (14) 学習支援教室「はち☆スタ」 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (15) 家庭教師派遣事業「ゆめはち先生」 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (16) 養育費確保支援事業 | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 36 問 35 で「2. 利用したことがあるが役に立たなかった」と回答した方へ、その番号と理由を記入

| 番号 | 理由 |
|---------|---------------|
| 記入例 (1) | 相談時間が合わなかったため |

問 37 各種支援制度の創設・充実希望について（希望の上位3つに○）

| | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. ひとり親家庭全般の相談 | 14. 小学生の無料塾 |
| 2. 就職・転職の相談と職業紹介 | 15. 中学生の無料塾 |
| 3. パソコン・通信環境の貸し出し | 16. 高校生の無料塾 |
| 4. 資格取得 | 17. 小学生の家庭教師派遣 |
| 5. 養育費確保 | 18. 中学校の家庭教師派遣 |
| 6. 親子交流（面会交流）促進 | 19. 高校生の家庭教師派遣 |
| 7. ホームヘルプサービス（家事支援） | 20. 子どもの居場所 |
| 8. 親同士の情報交換や交流会 | 21. 子どもの体験学習（料理や買い物、スポーツなど） |
| 9. 不登校の子を持つ親の交流会 | 22. 子どもの習い事支援 |
| 10. 親子参加での交流会 | 23. 子ども食堂 |
| 11. 親子料理教室 | 24. 食糧品宅配 |
| 12. 親子ふれあいバスツアー（くだもの祭り・工場見学など） | 25. 家計相談 |
| 13. 子どもの心のケア（離婚に対する受け止め方や理解の仕方など） | 26. SNS・メール相談 |
| | 27. 再婚支援 |
| | 28. その他（ ） |

問 38 お子さんの良いところや子育てで嬉しかったことについて（自由記述）

問 39 生活の不安や要望など（自由記述）

調査は以上で終了です。同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。ご協力ありがとうございました。

第二期八王子市子ども・若者育成支援計画
づくりに向けたアンケート調査（ひとり親）

令和6年8月

発行 八王子市 子ども家庭部 子どものしあわせ課
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
TEL：042-620-7391（直通）
